平成 28 年度

新潟大学大学院自然科学研究科

博士後期（博士）課程

Doctoral Program

学　生　募　集　要　項

（第３次募集・第４次募集）

【　一　般　入　試　】

【社会人特別入試】

【外国人留学生特別入試】

新潟大學

大学院自然科学研究科

GRADUATE SCHOOL OF SCIENCE AND TECHNOLOGY
NIIGATA UNIVERSITY

【入　試　日　程】

◇第３次募集

事前資格審査申請期限（該当者のみ）	平成 28 年 1 月 7 日（木）【必着】
事前資格審査結果通知（該当者のみ）	平成 28 年 1 月 20 日（水）
出願期間	平成 28 年 1 月 25 日（月）から 1 月 27 日（水）まで【期間内必着】
受験票送付（予定）	平成 28 年 2 月 8 日（月）
試験日	〔一般入試，外国人留学生特別入試〕 平成 28 年 2 月 22 日（月） 〔社会人特別入試志願者〕 平成 28 年 2 月 22 日（月）から 2 月 24 日（水）までの間の 本学が指定する 1 日
合格発表	平成 28 年 3 月 9 日（水）　午前 10 時
入学手続	平成 28 年 3 月 24 日（木）から 3 月 25 日（金）まで

◇第４次募集

事前資格審査申請期限（該当者のみ）	平成 28 年 3 月 2 日（水）【必着】
事前資格審査結果通知（該当者のみ）	平成 28 年 3 月 8 日（火）
出願期間	平成 28 年 3 月 8 日（火）から 3 月 10 日（木）まで【期間内必着】
受験票送付（予定）	平成 28 年 3 月 14 日（月）
試験日	〔一般入試，外国人留学生特別入試〕 平成 28 年 3 月 18 日（金） 〔社会人特別入試志願者〕 平成 28 年 3 月 18 日（金）又は 3 月 22 日（火）のどちらか 本学が指定する 1 日
合格発表	平成 28 年 3 月 28 日（月）　午前 10 時
入学手続	平成 28 年 3 月 30 日（水）から 3 月 31 日（木）まで

新潟大学志願者への入学検定料免除について

新潟大学では，災害等の被災者の経済的負担を軽減し，進学機会の確保を図るため，入学検定料免除の特別措置を行います。

免除の対象となる災害及び被災地域など，免除に関する詳細については，本学ホームページをご覧ください。

○新潟大学ホームページ

URL　http://www.niigata-u.ac.jp/　　携帯サイト　http://daigakujc.jp/niigata-u/

目　　次

Ⅰ　大学院自然科学研究科【博士後期課程】における教育研究の目的及び
各専攻のアドミッション・ポリシー・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

Ⅱ　一般入試・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 7

Ⅲ　社会人特別入試・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 13

Ⅳ　外国人留学生特別入試・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
Entrance Examination for International Students・・・・・・・・・・・・・・・ 25

Ⅴ　各入試共通事項
○　出願資格の審査（別紙１及び別紙２）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 31
○　コース主任（連絡先）一覧表 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 37

Ⅵ　自然科学研究科の概要（博士後期課程）
(1)　専攻・コースの概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 39
(2)　所属教員・研究内容一覧 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 45

Ⅶ　本研究科所定用紙（出願書類等）
・　入学願書・受験票・写真票・履歴書・振込依頼書（共通）
・　研究計画書（共通）
・　受験承諾書（一般入試・外国人留学生特別入試用）
・　承諾書（社会人特別入試・長期履修学生用）
・　入学試験出願資格認定審査調書（共通）
・　研究業績書（共通）
・　研究経過報告書（共通）
・　封筒（共通）

For International Students
・　Research Plan Form
・　Consent for Taking Examination
・　Eligibility Screening Application Form for Entrance Examination
・　Research Achievement Report
・　Research Progress Report

I　大学院自然科学研究科【博士後期課程】における教育研究の目的及び各専攻のアドミッション・ポリシー

Ⅰ　大学院自然科学研究科【博士後期課程】における教育研究の目的及び各専攻のアドミッション・ポリシー

○ 教育研究の目的

自然科学研究科は理学・工学・農学の分野を含む総合型の区分制大学院として５年一貫の教育を重視し，優れた研究能力と幅広い視野をもった創造性豊かな人材を養成することを目的とする。

博士後期課程は，専門分野の修得を前提に，各専攻における先端的な教育研究を通じて，関連分野の知見や視点を加えた総合的・学際的な分析能力を修得させ，以下の能力を備えた人材を養成することを教育目標とする。

⑴ 自然・社会・人類に対する広い視野をもち，責任を自覚する能力
⑵ 問題発見能力と問題解決能力
⑶ コミュニケーション能力
⑷ 国際会議等における発表能力
⑸ 学術雑誌への論文執筆能力

博士後期課程の各専攻は，次に掲げる教育研究を行う。

⑴ 数理物質科学専攻は，自然界の基本法則，宇宙，物質の性質や反応機構の解明と新素材・新物質の創製及び数理現象に関する先端的な教育研究を行う。
⑵ 材料生産システム専攻は，原子・分子の構造制御による新材料の創製，界面制御による異種材料の複合化，機能性材料の化学的開発，環境調和型生産プロセス，材料評価，生産機械システム及び材料制御等に関する先端的な教育研究を行う。
⑶ 電気情報工学専攻は，情報通信工学，知能情報科学，高効率エネルギー，電子デバイス，ナノテクノロジー，センシング，医用生体工学及び福祉工学に関する先端的な教育研究を行う。
⑷ 生命・食料科学専攻は，分子から個体までの生命現象の原理解明を幅広い研究領域から探求しつつ，食料問題の解決や農業関連産業発展のための応用学問分野の構築，基礎と応用の学問分野の有機的連携による生命原理の探求と応用，環境と調和した持続的農業生産の構築等に関する先端的な教育研究を行う。
⑸ 環境科学専攻は，地球的規模及び地域社会における環境問題に多面的に取り組み，既成の学問領域の枠組みを越えた学際的視点に立った環境科学に関する先端的な教育研究を行う。

○ 数理物質科学専攻アドミッション・ポリシー

本専攻は，研究者を志す探究心に富んだ人材，習得した専門知識にこだわらない柔軟な思考を有し産業界で活躍できる人材，教育ならびに科学技術行政に携わる意欲のある人材などの養成を念頭に置き，さまざまな自然構造の法則の探求や，物質反応の機構解明と新素材の探求，さらに数理科学的な各種現象の探求を最も基本的レベルから行うことにより，科学技術上の課題に自ら能動的に対処できる幅広い見識と独創性に富んだ人材育成を図る。前期課程において専門分野の基礎学力，専門知識，プレゼンテーション能力，語学力を十分に身に付け，高い研究学習意欲があるとみとめられる学生を受け入れる。また，本専攻の関連分野において研究開発の実務経験をもつ社会人の受け入れを積極的に行う。

① 一般入試

博士前期(修士)課程で習得した知識と自然探求能力を更に発展させ，自然科学の分野での活躍を目標とする知的好奇心にあふれ強い意志をもつ学生や，自然科学を生かした専門的職業人を目指す高い勉学意欲を有する学生

② 外国人留学生特別入試

一般入試の事項に加えて，入学希望コースでの学習に支障ない基礎学力（当該コースに対応する博士前期(修士)課程修了以上の資格あるいはこれと同等以上の能力）と研究に対する意欲を有し，日本語あるいは英語による必要最小限のコミュニケーションの能力を有する学生

③ 社会人特別入試

博士前期(修士)課程で学んだ知識と社会人としてのキャリアを基礎に，新しい知識を学びこれを積極的に活用する手法を習得し，専門的職業人としてのキャリアアップや自然科学・技術の新たな分野に進む勉学意欲と自主努力を行う強い意志をもつ社会人学生

○ 材料生産システム専攻アドミッション・ポリシー

本専攻では，循環型社会の形成に必要とされる豊かな総合科学的知識と問題解決能力を有し，材料生産システムに関する基礎から応用開発までの研究活動を研究者として主体的に取り組み，社会の多様な方面で活躍できる人材の育成を行う。

このため，機能材料科学，材料生産科学，および機械科学に関する知識と問題発見能力を有する人材の受け入れを行う。受け入れに際しては，前期課程における専門分野の基礎学力，専門知識，プレゼンテーション能力，語学力，および研究意欲に重点をおいて評価する。また，本専攻の関連分野において研究開発の実務経験を持つ幅広い人材の受け入れも行う。

① 一般入試

博士前期(修士)課程で習得した知識と自然探求能力を更に発展させ，研究者として自然科学の分野での活躍を目標とする知的好奇心にあふれ強い意志をもつ学生や，自然科学を生かした専門的職業人を目指す高い勉学意欲を有する学生

② 外国人留学生特別入試

一般入試の事項に加えて，入学希望コースでの学習に支障ない基礎学力（当該コース

に対応する博士前期(修士)課程修了以上の資格あるいはこれと同等以上の能力）と研究に対する意欲を有し，日本語あるいは英語による必要最小限のコミュニケーションの能力を有する学生

③ 社会人特別入試

博士前期(修士)課程で学んだ知識と社会人としてのキャリアを基礎に，新しい知識を学びこれを積極的に活用する手法を習得し，専門的職業人としてのキャリアアップや自然科学・技術の新たな分野に進む勉学意欲と自主努力を行う強い意志をもつ社会人学生

○ 電気情報工学専攻アドミッション・ポリシー

数学，物理などの自然科学の基礎学力と社会性・国際性を身に付けるために必須なコミュニケーション能力を有し，情報工学，電気・電子工学，人間支援科学のいずれかのコースにおいて，予備知識と専門的学部教育の経験を有し，これらの分野において，教育・研究・開発・設計・製造・企画・管理など知的で創造的な業務に従事する高度な専門的職業人となることを目標として，深い専門的知識と幅広い視野や豊かな人間性を身につけるため，高い勉学・研究意欲と計画，自主努力を行う強い意思をもつ者の入学を期待する。

① 一般入試

数学，情報学，知能情報学，情報通信・ネットワーク工学，電気電子工学，医療工学，リハビリテーション科学・福祉工学，健康・スポーツ科学のいずれかの分野において，ある程度の専門的知識と専門的大学院修士課程教育の経験，さらにそれらの分野の専門家との研究交流の経験を有すること。その上で，知的で創造的な業務に従事する高度な専門的職業人を目標とし，様々な分野の専門家との意思の疎通を図る能力があり，高い勉学・研究意欲と計画，自主努力を行う強い意思をもつ学生を期待する

② 外国人留学生特別入試

数学，情報学，知能情報学，情報通信・ネットワーク工学，電気電子工学，医療工学，リハビリテーション科学・福祉工学，健康・スポーツ科学のいずれかの分野において，ある程度の専門的知識と専門的大学院修士課程教育の経験，さらにそれらの分野の専門家との研究交流の経験を有すること。その上で，知的で創造的な業務に従事する高度な専門的職業人を目標とし，様々な分野の専門家との意思の疎通を図る能力があり，高い勉学・研究意欲と計画，自主努力を行う強い意思をもち，日本語あるいは英語による必要最小限のコミュニケーションの能力を有する学生を期待する

③ 社会人特別入試

大学院で関連する分野の修士課程を修了し，専門的職業経験を２年以上有する社会人学生

○ 生命・食料科学専攻アドミッション・ポリシー

本専攻は，新しい方法論や実験装置の急速な進歩によって驚異的に進展しつつある先端的基礎生物科学と応用生物科学の二領域をカバーし，生命の基本原理の解明のみならず，分子から個体までの生命現象の解明とその幅広い応用，ならびに地球環境の変動の生態系への影響，予想される食料不足など深刻化する諸問題の解決という，大きな社会的関心と要請に応える教育と研究を目指している。生物学，農学の基礎から関連産業部門までの幅広い領域が有機的に結合した教育と研究を実施し，生命現象の根源的理解を目指す専門性の高い研究者，新技術の開発，地域の産業や環境の改善を目指す研究者や高度な技術者，最新の知識をもった教育者等の養成を目的とする。このため，生命科学の時代である21世紀にあって，これらの有意義な領域へ主体的に関わっていこうとする，意欲のある学生，社会人，留学生を幅広く且つ積極的に受け入れる。

① 一般入試

博士前期(修士)課程で習得した知識と自然探求能力を更に発展させ，自然科学の分野での活躍を目標とする知的好奇心にあふれ強い意志をもつ学生や，自然科学を生かした専門的職業人を目指す高い勉学意欲を有する学生

② 外国人留学生特別入試

一般入試の事項に加えて，入学希望コースでの学習に支障のない基礎学力（当該コースに対応する博士前期(修士)課程修了以上の資格あるいはこれと同等以上の能力）と研究に対する意欲を有し，日本語あるいは英語による必要最小限のコミュニケーションの能力を有する学生

③ 社会人特別入試

博士前期(修士)課程で学んだ知識と社会人としてのキャリアを基礎に，新しい知識を学びこれを積極的に活用する手法を習得し，専門的職業人としてのキャリアアップや自然科学・技術の新たな分野に進む勉学意欲と自主努力を行う強い意志をもつ社会人学生

○ 環境科学専攻アドミッション・ポリシー

環境科学専攻は，地球規模から北東アジアの一角の日本海や新潟地域，さらに都市や住まいまでを広く研究対象として，エネルギー循環過程のメカニズム，野生生物の多様性，森林科学，農業農村環境工学，社会基盤工学，建築学，地球科学、災害科学に関する先端的・学際的で超域的な研究を行うことを目的とします。さらに，地球や地圏・水圏・生物圏などの構造を探求する優れた知識と自然環境と人間社会との相互関係についてまでの広い視野と深い専門知識，および都市・農山村環境を創出する能力を持つ人材，具体的には課題探求力と問題解決力を兼ね備え学術上の優れた成果を得ることができる高度な研究者･技術者を養成します。そのため，学内外を問わず，十分な情報収集，解析および発信の能力をもち，独創性に富んだ修士課程修了学生および高い実務経験を有する社会人を受け入れます。

① 一般入試

博士前期(修士)課程で習得した知識と探求能力を更に発展させ，自然科学の分野での

活躍を目標とする知的好奇心にあふれ，十分な専門的知識・能力，および強い意志をもつ学生や，自然科学を生かした専門的職業人を目指す高い勉学意欲を有する学生・社会人

② 外国人留学生特別入試

一般入試の事項に加えて，入学希望コースでの学習に支障ない基礎学力（当該コースに対応する博士前期(修士)課程修了以上の資格あるいはこれと同等以上の能力）と研究に対する意欲を有し，日本語あるいは英語による必要最小限のコミュニケーションの能力を有する学生・社会人

③ 社会人特別入試

博士前期(修士)課程で学んだ知識と社会人としてのキャリアを基礎に，新しい知識を学びこれを積極的に活用する手法を習得し，専門的職業人としてのキャリアアップや自然科学・技術の新たな分野に進む勉学意欲と自主努力を行う強い意志をもつ社会人

Ⅱ　一　般　入　試

【一般入試】

1　募集人員

専　攻　名	募集人員	専　攻　名	募集人員
数理物質科学専攻	若干人	生命・食料科学専攻	若干人
材料生産システム専攻	若干人	環　境　科　学　専　攻	若干人
電気情報工学専攻	若干人		

（注）　出願に際しては，必ず志望するコースの担当教員（45ページ参照）またはコース主任（37ページ参照）に教育研究内容等について問い合わせの上，出願してください。

2　出願資格

次のいずれかに該当する者とします。

(1)　修士の学位又は専門職学位（学校教育法第104条第1項の規定に基づき学位規則（昭和28年文部省令第9号）第5条の2に規定する専門職学位をいう（以下同じ））を有する者及び平成28年3月までに取得する見込みの者

(2)　外国において，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成28年3月までに授与される見込みの者**（【注1】参照）**

(3)　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成28年3月までに授与される見込みの者**（【注1】参照）**

(4)　我が国において，外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成28年3月までに授与される見込みの者

(5)　国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下「国際連合大学」という）の課程を修了し，修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成28年3月までに授与される見込みの者

(6)　大学を卒業し，大学，研究所等において，2年以上研究に従事した者で，本研究科において，当該研究の成果等により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの**（【注2】参照）**

(7)　外国において学校教育における16年の課程を修了した後，又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後，大学，研究所等において，2年以上研究に従事した者で，本研究科において，当該研究の成果等により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの**（【注2】参照）**

(8)　本研究科において，個別の入学資格審査により，修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で，平成28年3月31日までに24歳に達するもの**（【注3】参照）**

【注1】　「外国の修士の学位及び専門職学位」は，それぞれ学校教育法第104条の規定に基づき授与される「修士の学位又は専門職学位」に相当する学位として扱われます。

前記(2)又は(3)の出願資格によって出願する者は，新潟大学自然科学研究科学務係（TEL：(025)262-6109）に問い合わせの上，同係の指示する出願書類と共に，返信用封筒（長形3号の封筒に郵便切手372円分をはり，志願者の住所，氏名及び郵便番号を明記したもの）を提出し，事前審査を受けてください。

書類等の提出期限及び事前審査の結果通知日は，次のとおりです。

【第3次募集】　書類等は，**平成28年1月7日（木）まで**（必着）に提出してください。
事前審査の結果は，平成28年1月20日（水）付けで本人あて通知します。

【第4次募集】　書類等は，**平成28年3月2日（水）まで**（必着）に提出してください。
事前審査の結果は，平成28年3月8日（火）付けで本人あて通知します。

【注2】　**前記(6)又は(7)の出願資格によって出願する者**は，**別紙1**（31ページ）を参照してください。

【注3】　**前記(8)の出願資格によって出願する者**は，**別紙2**（32ページ）を参照してください。

3　出願期間

【第3次募集】

平成28年1月25日（月）から1月27日（水）まで【期間内必着】

【第4次募集】

平成28年3月8日（火）から3月10日（木）まで【期間内必着】

4　出願手続

(1)　**出願方法**

志願者は，本要項に添付の封筒に次の「出願書類等」を入れ，出願期間内に持参又は郵送してください。

(2)　**出願書類等の提出先**

〒950-2181　新潟市西区五十嵐2の町8050番地
新潟大学自然科学研究科学務係　TEL：(025)262-6109

持参の場合：受付時間は，9時から17時までです。

郵便の場合：必ず書留速達で郵送してください。

(3)　**出願書類等**

出願書類等	摘要
①　入学願書 受験票 写真票 履歴書	・本要項に添付の所定用紙を使用してください。 なお，「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を所定欄に確実にはってください（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください）。 ・写真票の所定箇所に写真（縦4㎝，横3㎝の上半身・無帽・正面向きで，出願前3か月以内に撮影したもの）をはってください。 ・受験時に眼鏡を使用する者は，眼鏡をかけて撮影してください。
②修士（専門職学位）課程修了(見込み)証明書 又は 修士学位取得(見込み)証明書	・修士（専門職学位）課程修了（見込み）証明書は，出身（在籍）大学院の研究科長（又は学長）が作成したものを提出してください。 ・修了（見込み）証明書に取得学位が記載されていない場合は，学位授与（見込み）証明書を提出してください。
③　学業成績証明書	・出身（在籍）大学院の研究科長（又は学長）が作成（厳封）したものを提出してください。
④　検定料納付証明書	・本要項に添付の「振込依頼書（新潟大学大学院自然科学研究科博士後期課程入学試験検定料）・振込金及び手数料領収書（志願者保存）・検定料納付証明書（新潟大学提出用）」に必要事項を記入し，以下の点に留意のうえ，切り離さずに最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行及び郵便局を除く）に持参し，窓口で検定料30,000円を振り込んでください。その後，入学願書の所定欄に検定料納付証明書（新潟大学提出用）をはって提出してください。 なお，振込手数料は，志願者本人の負担となります。 ①　依頼人氏名欄は，必ず志願者本人の氏名を記入してください。 ②　検定料の振り込みは，下記の期間内に必ず行ってください（※土・日曜日，祝日の振り込みはできません）。 **【第3次募集】** 平成28年1月15日（金）から1月27日（水）〔15時〕まで **【第4次募集】** 平成28年2月29日（月）から3月10日（木）〔15時〕まで ③　ＡＴＭ（現金自動預払機）での振り込みはできません。
⑤　修士学位論文等	・修士の学位を有する者は，修士学位論文の写し又はその論文要旨（2,000字程度で作成のこと）を提出してください。 ・修士課程修了見込者で修士学位論文を提出できない場合は，修士課程における研究状況等を詳細に記載した研究経過報告書（本要項に添付の所定用紙）を提出してください。

⑥ 研　究　計　画　書	・本要項に添付の所定用紙を使用してください。 ・入学後の学修及び研究計画の予定について記述し，作成してください。
⑦ 受　験　承　諾　書 【該当者のみ提出】	・教育機関，研究機関や地方自治体，企業等に在職している者で在職のまま入学を予定している者は，勤務先所属長の作成した受験承諾書（本要項に添付の所定用紙）を提出してください。 ・合格後退職して入学する予定の場合は，本人が退職する予定である旨を明記した文書をもって受験承諾書に代えます。その場合は，入学手続時に退職証明書（又は退職見込証明書）が必要です。
⑧ パスポートの写し又は在留カードの写し 【該当者のみ提出】	・外国籍を有する者は，パスポートの写し（顔写真ページ及び在留資格が記載されているページ）又は在留カードの写し（表裏両面）を提出してください。
⑨ 返　信　用　封　筒 2 枚作成 ・受験票在中(長形 3 号) ・入学手続書類在中(角形 2 号)	・本要項に添付の返信用封筒を使用してください。 ・封筒には，志願者の住所，氏名及び郵便番号を記入してください。 ・受験票在中(長形 3 号)には，郵便切手 372 円分をはってください。 ・入学手続書類在中（角形 2 号）には，郵便切手をはる必要はありません。 ※転居等で受験票や合格通知書が未着となることがないように，変更があった場合は，速やかに出願書類等提出先に申し出てください。

［注］ (1) 出願書類等に不備がある場合には，受理しないことがあります。

(2) **英語以外の外国語で作成された書類等には，日本語訳を必ず添付してください。**

(3) 健康診断書の提出を求めていませんので，筆記試験及び口述試験の受験及び修学上の配慮を必要とする志願者は，出願前に申し出てください。

(4) 出願書類等については，本研究科入学者選抜において必要なため提出いただくものであり，これによって得た情報を，独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第 9 条に規定されている場合を除き，出願者本人の同意を得ることなく他の目的で使用又は第三者に提供することはありません。

5　選抜方法

・入学者の選抜は，学力検査及び出願書類を総合して行います。

・学力検査について

数理物質科学専攻，材料生産システム専攻，電気情報工学専攻及び環境科学専攻においては，下記②口述試験を課します。

生命・食料科学専攻においては，下記①筆記試験及び②口述試験を課します。

① 筆記試験：外国語（英語）の試験を課します。

② 口述試験：「修士学位論文（又は研究経過報告書)」及び「研究計画書」を中心に行います。

6　学力検査期日及び時間割

【第3次募集】

(1) 学力検査期日　**平成 28 年 2 月 22 日（月）**

(2) 時間割

① 筆記試験　10:30 ～12:00

② 口述試験　詳細については，受験票送付の際に通知します。

【第4次募集】

(1) 学力検査期日　**平成 28 年 3 月 18 日（金）**

(2) 時間割

① 筆記試験　10:30 ～12:00

② 口述試験　詳細については，受験票送付の際に通知します。

7　試験場

新潟大学五十嵐キャンパス（新潟市西区五十嵐２の町 8050 番地）

なお，試験場（試験室）の詳細については，受験票送付の際に指示します。

受験票の送付予定日は，次のとおりです。

【第３次募集】　平成 28 年２月８日（月）

【第４次募集】　平成 28 年３月 14 日（月）

8　合格発表

【第３次募集】　平成 28 年３月９日（水）午前 10 時

【第４次募集】　平成 28 年３月 28 日（月）午前 10 時

新潟大学大学院自然科学研究科正面玄関において，合格者の受験番号を掲示により発表するとともに，合格者には合格通知書を送付します。

また，合格発表当日の 12 時頃に新潟大学大学院自然科学研究科ホームページにも合格者の受験番号を掲載します（http://www.gs.niigata-u.ac.jp/）。

なお，合否に関しての電話等による問い合わせには，一切応じません。

9　入学手続

入学手続の概要は，次のとおりです。詳細については，合格者に別途通知します。

(1)　入学手続期間

【第３次募集】

平成28年3月24日（木）から3月25日（金）まで

【第4次募集】

平成28年3月30日（水）から3月31日（木）まで

(2)　入学に要する経費

入学料　　282,000 円（予定額）

（注１）　入学料改定が行われた場合には，改定時から新入学料が適用されます。

（注２）　入学料を現金で振り込む場合には，金融機関の窓口において，振り込みを行う者の本人確認書類（運転免許証，健康保険証，パスポート等）の提示が必要となります。
本人確認書類の提示が無い場合には，現金による振り込みができませんので注意してください。

（注３）　入学料免除等希望者は，入学手続時に入学料を納付しないでください。

（注４）　入学料を納付後，入学手続期間内に入学手続を完了しなかった（入学を辞退したものとして取り扱われる）場合は，当該入学料を返還します。返還の請求については，新潟大学自然科学研究科学務係に照会してください。

10　授業料

年額　535,800 円（前期分 267,900 円，後期分 267,900 円）〔予定額〕

（注1）　授業料は，入学後，口座引き落としにより納付していただきます。

（注2）　授業料の納付方法の詳細については，合格者に別途通知します。

（注3）　在学中に授業料改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用されます。

11　入学料免除等について

下記のいずれかに該当する者のうち，入学手続期間内に所定の申請を行った者について，選考の上，入学料の全額又は半額を免除する制度があります。

また，入学料徴収猶予（延納）の制度もあります。

①　経済的理由により，入学料の納付が著しく困難であり，かつ，学業優秀と認められる者

②　入学前１年以内において，本学に入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という）が死亡し，又は本学に入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより，入学料の納付が

著しく困難であると認められる者

③　上記に準ずる場合であって，相当の事由があると認められる者

12　授業料免除等について

下記のいずれかに該当する者のうち，入学後，所定の期間内に申請を行った者について，選考の上，前期・後期ごとに授業料の全額又は半額を免除する制度があります。

また，授業料徴収猶予（延納又は月割分納）の制度もあります。

①　経済的理由により納付が困難であり，かつ，学業優秀と認められる場合

②　授業料の当該期の納期前6ヶ月以内（新入学者に対する入学した日の属する期分の免除に係る場合は，入学前1年以内）又は納期中に，学資負担者が死亡し，又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け，納付が著しく困難であると認められる場合

③　上記に準ずる場合であって，学長が相当と認める事由がある場合

13　奨学金について

日本学生支援機構には，学業・人物ともに優れた学生で経済的理由のため修学困難であると認められる者に対し，奨学金を貸与する制度があります。その貸与月額は，80,000円又は122,000 円です（第一種）。

この奨学金は，本人の申請に基づき，学業成績，研究能力及び家庭の経済的事情等を審査し，選考の上，日本学生支援機構に推薦し，決定されるものです。

14　長期履修学生制度

この制度は，社会人特別入試入学者等が職業を有しているため，通常の標準修業年限（3 年）での修了が困難と予想される者のために標準修業年限（3年）を超えて履修し，修了することを可能にした制度です。

(1)　対象者

職業を有する者（常勤に限る）を対象とします。

(2)　修業年限

長期履修学生の修業年限は，4年又は5年とします。

なお，入学後（在学中）に修業年限を変更することも可能ですが，その場合の適用は翌年度からとなりますので注意してください。

(3)　申請方法

長期履修申請書及び勤務先所属長の承諾書を入学手続期間内に自然科学研究科学務係へ提出してください。

(4)　結果通知

申請者に対し，入学手続後に長期履修の承認通知を行います。

(5)　授業料

授業料の額は，「国立大学法人新潟大学授業料その他の費用に関する規程で定められた金額×標準修業年限（3年）÷長期履修学生の修業年限」で算出した金額（年額）となります。

なお，入学手続時には納付できません。

※　算出例（平成27年度授業料年額を基に算出）

修業年限5年の長期履修学生の場合の授業料年額

535,800 円×3年÷5年＝321,480 円（年額）

（注）　在学中に授業料の改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用されます。

(6)　その他

不明な点については，新潟大学自然科学研究科学務係へ問い合わせてください。

15　入学者選抜に用いた個人情報の取扱い

(1)　出願に当たってお知らせいただいた氏名，住所その他の個人情報については，①入学者選抜（出願処理，選抜実施），②合格発表，③入学手続，④入学者選抜方法等における調査・研究，分析及び⑤これらに付随する業務を行うために利用します。

(2)　入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は，入学者選抜方法等における調査・研究，分析を行うために利用します。

(3)　出願に当たってお知らせいただいた個人情報及び入試成績は，入学者のみ入学後の①教務関係（学籍，修学指導等），②学生支援関係（健康管理，奨学金申請等），③授業料等に関する業務を行うために利用します。

　また，個人情報のうち，合格者の氏名及び住所については，本学の同窓会及び後援会からの連絡を行うために利用する場合があります。

16　注意事項

(1)　出願後は，出願書類等の記載事項の変更は認めません。また，既納の検定料及び出願書類等は，返還しません。

　ただし，検定料振り込み後，出願期間内に出願書類を提出しなかった場合は，当該検定料を返還しますので申し出てください。

(2)　その他出願に際して疑問又は不明の点があれば，下記に問い合わせてください。

　新潟大学自然科学研究科学務係　　TEL：(025)262-6109

17　参考事項

(1)　入学試験について

①　入学者の選抜は，9 ページの「5 選抜方法」に記載してありますが，「修士学位論文（又は研究経過報告書）」及び「研究計画」が最も重視されます。

　口述試験では，企業内部紀要，学会に発表した論文及び将来の研究計画等について試問をします。

②　7 ページの「2 出願資格」の(6)，(7)又は(8)による志願者については，出願書類等を受理する前に出願資格の有無について，本研究科において「入学試験出願資格認定審査調書」及び著書，学術論文等の研究業績により審査をした上，出願資格を有すると認定された者に対して入学試験を実施します。

(2)　研究指導及び履修について

①　研究指導は，コース制の長所を生かして，主指導教員と 2 名の副指導教員が当たります。

②　研究テーマ及び研究場所については，本研究科の主体性を保ちながら，研究の継続性とその発展を考慮して，教育や研究指導に当たります。

Ⅲ　社会人特別入試

【社会人特別入試】

本学大学院自然科学研究科では，企業等に在職したまま入学を希望する社会人を従来から多く受け入れてきました。近年，技術革新の加速化や，社会の国際化，情報化，生涯学習社会の進展等を背景として，社会人の再教育など大学院に対する要請が一層多様，かつ，高度になってきています。

また，基礎研究を中心に各種の学術研究を推進し，研究者の養成と社会が期待する高度の専門的能力を有する人材養成の役割を担う大学院においては，このような社会的・国民的需要に応えることは当然の責務です。

このような見地から，本研究科では大学院設置基準第 14 条に基づく教育方法の特例（「大学院の課程においては，教育上特別の必要があると認められる場合には，夜間その他特定の時間又は時期において，授業又は研究指導を行う等適当な方法により教育を行うことができる。」）措置を導入し，昼夜開講や休業期間中における集中授業の開講など，大学院における履修形態や教育方法の弾力化を図っています。

それにより，職業を有する社会人を大学院に積極的に受入れ，高度な研究能力・知識を身につける機会を与え，社会の多方面で活躍し得る人材を養成することを目的として，社会人特別入試を実施します。

1　募集人員

専　攻　名	募集人員	専　攻　名	募集人員
数理物質科学専攻	若干人	生命・食料科学専攻	若干人
材料生産システム専攻	若干人	環境科学専攻	若干人
電気情報工学専攻	若干人		

（注）　出願に際しては，必ず志望するコースの担当教員（45 ページ参照）又はコース主任（37 ページ参照）に教育研究内容等について問い合わせの上，出願してください。

2　出願資格

各種研究機関，教育機関又は企業等に平成 28 年 4 月 1 日現在で 2 年以上勤務経験を有する者で，入学後も引き続きその身分を有し，勤務成績が優秀であり，所属長等の承諾を受けた者で，次のいずれかに該当する者とします。

(1)　修士の学位又は専門職学位（学校教育法第 104 条第 1 項の規定に基づき学位規則（昭和 28 年文部省令第 9 号）第 5 条の 2 に規定する専門職学位をいう（以下同じ））を有する者及び平成 28 年 3 月までに取得する見込みの者

(2)　外国において，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成 28 年 3 月までに授与される見込みの者**（【注 1】参照）**

(3)　外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成 28 年 3 月までに授与される見込みの者**（【注 1】参照）**

(4)　我が国において，外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成 28 年 3 月までに授与される見込みの者

(5)　国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和 51 年法律第 72 号）第 1 条第 2 項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下「国際連合大学」という）の課程を修了し，修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成 28 年 3 月までに授与される見込みの者

(6)　大学を卒業し，大学，研究所等において，2 年以上研究に従事した者で，本研究科において，当該研究の成果等により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの**（【注 2】参照）**

(7)　外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後，又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後，大学，研究所等において，2 年以上研究に従事した者で，本研究科において，当該研究の成果等により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの**（【注 2】参照）**

(8)　本研究科において，個別の入学資格審査により，修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で，平成 28 年 3 月 31 日までに 24 歳に達するもの**（【注 3】参照）**

【注1】「外国の修士の学位及び専門職学位」は，それぞれ学校教育法第104条の規定に基づき授与される「修士の学位又は専門職学位」に相当する学位として扱われます。

前記(2)又は(3)の出願資格によって出願する者は，新潟大学自然科学研究科学務係（TEL:(025)262-6109）に問い合わせの上，同係の指示する出願書類と共に，返信用封筒（長形3号の封筒に郵便切手372円分をはり，志願者の住所，氏名及び郵便番号を明記したもの）を提出し，事前審査を受けてください。

書類等の提出期限及び事前審査の結果通知日は，次のとおりです。

【第3次募集】 書類等は，**平成28年1月7日（木）まで**（必着）に提出してください。
事前審査の結果は，平成28年1月20日（水）付けで本人あて通知します。

【第4次募集】 書類等は，**平成28年3月2日（水）まで**（必着）に提出してください。
事前審査の結果は，平成28年3月8日（火）付けで本人あて通知します。

【注2】 **前記(6)又は(7)の出願資格によって出願する者**は，**別紙1**（31ページ）を参照してください。
【注3】 **前記(8)の出願資格によって出願する者**は，**別紙2**（32ページ）を参照してください。

3　出願期間

【第3次募集】
平成28年1月25日（月）から1月27日（水）まで【期間内必着】
【第4次募集】
平成28年3月8日（火）から3月10日（木）まで【期間内必着】

4　出願手続

(1)　**出願方法**

志願者は，本要項に添付の封筒に次の「出願書類等」を入れ，出願期間内に持参又は郵送してください。

(2)　**出願書類等の提出先**

〒950-2181　新潟市西区五十嵐2の町8050番地
新潟大学自然科学研究科学務係　TEL:(025)262-6109

持参の場合：受付時間は，9時から17時までです。
郵便の場合：必ず書留速達とし，**封筒の表に「社会人特別入試」と朱書**してください。

(3)　**出願書類等**

出願書類等	摘要
① 入学願書 受験票 写真票 履歴書	・本要項に添付の所定用紙を使用してください。 なお，「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を所定欄に確実にはってください（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください）。 ・写真票の所定箇所に写真（縦4㎝，横3㎝の上半身・無帽・正面向きで，出願前3か月以内に撮影したもの）をはってください。 ・受験時に眼鏡を使用する者は，眼鏡をかけて撮影してください。
② 修士（専門職学位）課程修了(見込み)証明書 又は 修士学位取得(見込み)証明書	・修士（専門職学位）課程修了（見込み）証明書は，出身（在籍）大学院の研究科長（又は学長）が作成したものを提出してください。 ・修了（見込み）証明書に取得学位が記載されていない場合は，学位授与（見込み）証明書を提出してください。
③ 学業成績証明書	・出身（在籍）大学院の研究科長（又は学長）が作成（厳封）したものを提出してください。

④ 検定料納付証明書	・本要項に添付の「振込依頼書（新潟大学大学院自然科学研究科博士後期課程入学試験検定料）・振込金及び手数料領収書（志願者保存）・検定料納付証明書（新潟大学提出用）」に必要事項を記入し，以下の点に留意のうえ，切り離さずに最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行及び郵便局を除く）に持参し，窓口で検定料 30,000 円を振り込んでください。その後，入学願書の所定欄に検定料納付証明書（新潟大学提出用）をはって提出してください。 なお，振込手数料は，志願者本人の負担となります。 ① 依頼人氏名欄は，必ず志願者本人の氏名を記入してください。 ② 検定料の振り込みは，下記の期間内に必ず行ってください（※土・日曜日，祝日の振り込みはできません）。 **【第3次募集】** 平成28年1月15日（金）から1月27日（水）〔15時〕まで **【第4次募集】** 平成28年2月29日（月）から3月10日（木）〔15時〕まで ③ ＡＴＭ（現金自動預払機）での振り込みはできません。
⑤ 修士学位論文等	・修士の学位を有する者は，修士学位論文の写し又はその論文要旨(2,000 字程度で作成のこと）を提出してください。 ・修士課程修了見込者で修士学位論文を提出できない場合は，修士課程における研究状況等を詳細に記載した研究経過報告書(本要項に添付の所定用紙)を提出してください。
⑥ 研究計画書	・本要項に添付の所定用紙を使用してください。 ・入学後の学修及び研究計画の予定について記述し，作成してください。
⑦ 承諾書	・本要項に添付の所定用紙を使用してください。 ・勤務先所属長の作成した承諾書を提出してください。
⑧ 在職期間等証明書	・在職期間及び職種について，勤務先所属長の作成した証明書を提出してください。
⑨ パスポートの写し又は在留カードの写し 【該当者のみ提出】	・外国籍を有する者は，パスポートの写し（顔写真ページ及び在留資格が記載されているページ）又は在留カードの写し（表裏両面）を提出してください。
⑩ 返信用封筒 2 枚作成 ・受験票在中(長形 3 号) ・入学手続書類在中(角形 2 号)	・本要項に添付の返信用封筒を使用してください。 ・封筒には，志願者の住所，氏名及び郵便番号を記入してください。 ・受験票在中(長形 3 号)には，郵便切手 372 円分をはってください。 ・入学手続書類在中(角形 2 号)には，郵便切手をはる必要はありません。 ※転居等で受験票や合格通知書が未着となることがないように，変更があった場合は，速やかに出願書類等提出先に申し出てください。

［注］(1)　出願書類等に不備がある場合には，受理しないことがあります。

(2)　**英語以外の外国語で作成された書類等には，日本語訳を必ず添付してください。**

(3)　健康診断書の提出を求めていませんので，筆記試験及び口述試験の受験及び修学上の配慮を必要とする志願者は，出願前に申し出てください。

(4)　出願書類等については，本研究科入学者選抜において必要なため提出いただくものであり，これによって得た情報を，独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第 9 条に規定されている場合を除き，出願者本人の同意を得ることなく他の目的で使用又は第三者に提供することはありません。

5　選抜方法

・入学者の選抜は，学力検査（口述試験）及び出願書類を総合して行います。

・学力検査（口述試験）は，「修士学位論文（又は研究経過報告書)」及び「研究計画書」を中心に行います。

６　学力検査期日及び時間

【第3次募集】　平成28年2月22日（月）から2月24日（水）までの間の本学が指定する1日

詳細については，受験票送付の際に通知します。

※学力検査期日については，志望するコースの担当教員（45 ページ参照）又はコース主任（37 ページ参照）に照会してください。

【第4次募集】　平成28年3月18日（金）又は3月22日（火）のどちらか本学が指定する1日

詳細については，受験票送付の際に通知します。

※学力検査期日については，志望するコースの担当教員（45 ページ参照）又はコース主任（37 ページ参照）に照会してください。

７　試験場

新潟大学五十嵐キャンパス（新潟市西区五十嵐 2 の町 8050 番地）

なお，試験場（試験室）の詳細については，受験票送付の際に指示します。

受験票の送付予定日は，次のとおりです。

【第 3 次募集】　平成 28 年 2 月 8 日（月）

【第 4 次募集】　平成 28 年 3 月 14 日（月）

８　合格発表

【第 3 次募集】　平成 28 年 3 月 9 日（水）午前 10 時

【第 4 次募集】　平成 28 年 3 月 28 日（月）午前 10 時

新潟大学大学院自然科学研究科正面玄関において，合格者の受験番号を掲示により発表するとともに，合格者には合格通知書を送付します。

また，合格発表当日の 12 時頃に新潟大学大学院自然科学研究科ホームページにも合格者の受験番号を掲載します（http://www.gs.niigata-u.ac.jp/）。

なお，合否に関しての電話等による問い合わせには，一切応じません。

９　入学手続

入学手続の概要は，次のとおりです。詳細については，合格者に別途通知します。

(1)　入学手続期間

【第 3 次募集】

平成28年3月24日（木）から3月25日（金）まで

【第4次募集】

平成28年3月30日（水）から3月31日（木）まで

(2)　入学に要する経費

入学料　　282,000 円（予定額）

（注１）　入学料改定が行われた場合には，改定時から新入学料が適用されます。

（注２）　入学料を現金で振り込む場合には，金融機関の窓口において，振り込みを行う者の本人確認書類（運転免許証，健康保険証，パスポート等）の提示が必要となります。
本人確認書類の提示が無い場合には，現金による振り込みができませんので注意してください。

（注３）　入学料免除等希望者は，入学手続時に入学料を納付しないでください。

（注４）　入学料を納付後，入学手続期間内に入学手続を完了しなかった（入学を辞退したものとして取り扱われる）場合は，当該入学料を返還します。返還の請求については，新潟大学自然科学研究科学務係に照会してください。

10　授業料

年額　535,800 円（前期分　267,900 円，　後期分　267,900 円）〔予定額〕

（注１）　授業料は，入学後，口座引き落としにより納付していただきます。

（注２）　授業料の納付方法の詳細については，合格者に別途通知します。

（注３）　在学中に授業料改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用されます。

11　長期履修学生制度

この制度は，社会人特別入試入学者等が職業を有しているため，通常の標準修業年限（3 年）での修了が困難と予想される者のために標準修業年限（3 年）を超えて履修し，修了することを可能にした制度です。

(1)　対象者

職業を有する者（常勤に限る）を対象とします。

(2)　修業年限

長期履修学生の修業年限は，4 年又は 5 年とします。

なお，入学後（在学中）に修業年限を変更することも可能ですが，その場合の適用は翌年度からとなりますので注意してください。

(3)　申請方法

長期履修申請書及び勤務先所属長の承諾書を入学手続期間内に自然科学研究科学務係へ提出してください。

(4)　結果通知

申請者に対し，入学手続後に長期履修の承認通知を行います。

(5)　授業料

授業料の額は，「国立大学法人新潟大学授業料その他の費用に関する規程で定められた金額×標準修業年限（3 年）÷長期履修学生の修業年限」で算出した金額（年額）となります。

なお，入学手続時には納付できません。

※　算出例（平成 27 年度授業料年額を基に算出）
　　修業年限 5 年の長期履修学生の場合の授業料年額
　　535,800 円×3 年÷5 年＝321,480 円（年額）

（注）　在学中に授業料の改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用されます。

(6)　その他

不明な点については，新潟大学自然科学研究科学務係へ問い合わせてください。

12　入学者選抜に用いた個人情報の取扱い

(1)　出願に当たってお知らせいただいた氏名，住所その他の個人情報については，①入学者選抜（出願処理，選抜実施），②合格発表，③入学手続，④入学者選抜方法等における調査・研究，分析及び⑤これらに付随する業務を行うために利用します。

(2)　入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は，入学者選抜方法等における調査・研究，分析を行うために利用します。

(3)　出願に当たってお知らせいただいた個人情報及び入試成績は，入学者のみ入学後の①教務関係（学籍，修学指導等），②学生支援関係（健康管理，奨学金申請等），③授業料等に関する業務を行うために利用します。

また，個人情報のうち，合格者の氏名及び住所については，本学の同窓会及び後援会からの連絡を行うために利用する場合があります。

13　注意事項

(1)　出願後は，出願書類等の記載事項の変更は認めません。また，既納の検定料及び出願書類等は，返還しません。

ただし，検定料振り込み後，出願期間内に出願書類を提出しなかった場合は，当該検定料を返還しますので申し出てください。

(2)　その他出願に際して疑問又は不明の点があれば，下記に問い合わせてください。

新潟大学自然科学研究科学務係　TEL:(025)262-6109

14　参考事項

(1)　入学試験について

① 入学者の選抜は，15 ページの「5 選抜方法」に記載してありますが，「修士学位論文（又は研究経過報告書)」及び「研究計画」が最も重視されます。

口述試験では，企業内部紀要，学会に発表した論文及び将来の研究計画等について試問をします。

② 13 ページの「2 出願資格」の(6)，(7)又は(8)による志願者については，出願書類等を受理する前に出願資格の有無について，本研究科において「入学試験出願資格認定審査調書」及び著書，学術論文等の研究業績により審査をした上，出願資格を有すると認定された者に対して入学試験を実施します。

(2)　社会人の就学状況及び履修について

① 本研究科には，現在約 80 人の社会人が在学していますが，大部分が大学院設置基準第 14 条の「教育方法の特例」の適用を受けて就学しています。

② 研究指導は，コース制の長所を生かして，主指導教員と 2 名の副指導教員が当たります。

③ 研究テーマ及び研究場所については，本研究科の主体性を保ちながら，研究の継続性とその発展を考慮して，教育や研究指導に当たります。

(3)　教育方法の特例による履修方法・授業の実施方法について

特例措置の適用を希望する者に対しては，通常の時間帯のほかに，特例による授業時間帯を設け，履修の便を図っています。

たとえば，履修コースの例として，次の①及び②があります。

① 半年間昼間コース

3 年間のうち半年間は，昼間のコースと特例措置による時間外のコースから必要授業を選択し，残りの 2.5 年間は，原則として夜間など時間外に設けられた授業を選択します。

② 全時間外コース

夜間など，通常の勤務時間以外の時間帯における履修を原則としますが，勤務形態によっては，昼間の時間帯でも履修できるものとします。

上記のコース別にかかわらず，勤務地の関係で夜間など通常の勤務時間外の履修が困難な場合には，週末又は夏期等の休業期間に集中講義を受講することによって，単位を修得します。

Ⅳ　外国人留学生特別入試

【外国人留学生特別入試】

1　募集人員

専　攻　名	募集人員	専　攻　名	募集人員
数理物質科学専攻	若干人	生命・食料科学専攻	若干人
材料生産システム専攻	若干人	環　境　科　学　専　攻	若干人
電気情報工学専攻	若干人		

（注）出願に際しては，必ず志望するコースの担当教員（45 ページ参照）またはコース主任（37 ページ参照）に教育研究内容等について問い合わせの上，出願してください。

2　出願資格

外国人留学生として志願する者で，次のいずれかに該当する者とします。

(1) 修士の学位又は専門職学位（学校教育法第 104 条第 1 項の規定に基づき学位規則（昭和 28 年文部省令第 9 号）第 5 条の 2 に規定する専門職学位をいう（以下同じ））を有する者及び平成 28 年（2016 年）3 月までに取得する見込みの者

(2) 外国において，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成 28 年（2016 年）3 月までに授与される見込みの者**（【注 1】参照）**

(3) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成 28 年（2016 年）3 月までに授与される見込みの者**（【注 1】参照）**

(4) 我が国において，外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって，文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し，修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び平成 28 年（2016 年）3 月までに授与される見込みの者

(5) 国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和 51 年法律第 72 号）第 1 条第 2 項に規定する 1972 年 12 月 11 日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学（以下「国際連合大学」という）の課程を修了し，修士の学位に相当する学位を授与された者及び平成 28 年（2016 年）3 月までに授与される見込みの者

(6) 大学を卒業し，大学，研究所等において，2 年以上研究に従事した者で，本研究科において，当該研究の成果等により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの**（【注 2】参照）**

(7) 外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後，又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後，大学，研究所等において，2 年以上研究に従事した者で，本研究科において，当該研究の成果等により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの**（【注 2】参照）**

(8) 本研究科において，個別の入学資格審査により，修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で，平成 28 年（2016 年）3 月 31 日までに 24 歳に達するもの**（【注 3】参照）**

【注 1】「外国の修士の学位及び専門職学位」は，それぞれ学校教育法第 104 条の規定に基づき授与される「修士の学位又は専門職学位」に相当する学位として扱われます。

前記 (2) 又は (3) の出願資格によって出願する者は，新潟大学自然科学研究科学務係（TEL：(025) 262-6109）に問い合わせの上，同係の指示する出願書類と共に，返信用封筒（長形 3 号の封筒に郵便切手 372 円分をはり，志願者の住所，氏名及び郵便番号を明記したもの）を提出し，事前審査を受けてください。

書類等の提出期限及び事前審査の結果通知日は，次のとおりです。

【第3次募集】　書類等は，**平成28年（2016年）1月7日（木）まで**（必着）に提出してください。
事前審査の結果は，平成28年（2016年）1月20日（水）付けで本人あて通知します。

【第4次募集】　書類等は，**平成28年（2016年）3月2日（水）まで**（必着）に提出してください。
事前審査の結果は，平成28年（2016年）3月8日（火）付けで本人あて通知します。

【注 2】　前記 (6) 又は (7) の出願資格によって出願する者は，**別紙 1**（31 ページ）を参照してください。

【注 3】　前記 (8) の出願資格によって出願する者は，**別紙 2**（32 ページ）を参照してください。

３　出願期間

【第3次募集】

平成28年（2016年）1月25日（月）から1月27日（水）まで**【期間内必着】**

【第4次募集】

平成28年（2016年）3月8日（火）から3月10日（木）まで**【期間内必着】**

４　出願手続

(1) **出願方法**

志願者は，本要項に添付の封筒に次の「出願書類等」を入れ，出願期間内に持参又は郵送してください。

(2) **出願書類等の提出先**

〒950-2181　新潟市西区五十嵐２の町8050番地
新潟大学自然科学研究科学務係　TEL:(025)262-6109

持参の場合：受付時間は，９時から17時までです。

郵便の場合：必ず書留速達とし，**封筒の表に「外国人留学生特別入試」と朱書**してください。

(3) **出願書類等**

出願書類等	摘　　要
① 入　学　願　書 受　　験　　票 写　　真　　票 履　　歴　　書	・本要項に添付の所定用紙を使用してください。 なお，「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」を所定欄に確実にはってください（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください）。 ・写真票の所定箇所に写真（縦４㎝，横３㎝の上半身・無帽・正面向きで，出願前３か月以内に撮影したもの）をはってください。 ・受験時に眼鏡を使用する者は，眼鏡をかけて撮影してください。
② 修士（専門職学位）課程 修了(見込み)証明書 又は 修士学位取得(見込み)証明書	・修士（専門職学位）課程修了（見込み）　証明書は，出身（在籍）大学院の研究科長（又は学長）が作成したものを提出してください。 ・修了（見込み）証明書に取得学位が記載されていない場合は，学位授与（見込み）証明書を提出してください。
③ 学業成績証明書	・出身（在籍）大学院の研究科長（又は学長）が作成したものを提出してください。
④ 検定料納付証明書	・本要項に添付の「振込依頼書（新潟大学大学院自然科学研究科博士後期課程入学試験検定料）・振込金及び手数料領収書（志願者保存）・検定料納付証明書（新潟大学提出用）」に必要事項を記入し，以下の点に留意のうえ，切り離さずに最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行及び郵便局を除く）に持参し，窓口で検定料30,000円を振り込んでください。その後，入学願書の所定欄に検定料納付証明書（新潟大学提出用）をはって提出してください。 なお，振込手数料は，志願者本人の負担となります。 ① 依頼人氏名欄は，必ず志願者本人の氏名を記入してください。 ② 検定料の振り込みは，下記の期間内に必ず行ってください（※土・日曜日，祝日の振り込みはできません）。 **【第3次募集】** 平成28年（2016年）1月15日（金）から1月27日（水）〔15時〕まで **【第4次募集】** 平成28年（2016年）2月29日（月）から3月10日（木）〔15時〕まで ③ ＡＴＭ（現金自動預払機）での振り込みはできません。
⑤ 修士学位論文等	・修士の学位を有する者は，修士学位論文の写し又はその論文要旨(2,000字程度で作成のこと）を提出してください。 ・修士課程修了見込者で修士学位論文を提出できない場合は，修士課程における研究状況等を詳細に記載した研究経過報告書（本要項に添付の所定用紙）を提出してください。

⑥ 研究計画書	・本要項に添付の所定用紙を使用してください。 ・入学後の学修及び研究計画の予定について記述し，作成してください。
⑦ 受験承諾書 【該当者のみ提出】	・教育機関，研究機関や地方自治体，企業等に在職している者で在職のまま入学を予定している者（勤務地が外国の場合は，除きます）は，勤務先所属長の作成した受験承諾書（本要項に添付の所定用紙）を提出してください。 ・なお，合格後退職して入学する予定の場合は，本人が退職する予定である旨を明記した文書をもって受験承諾書に代えます。その場合は，入学手続時に退職証明書（又は退職見込証明書）が必要です。
⑧ パスポートの写し又は在留カードの写し	・外国籍を有する者は，パスポートの写し（顔写真ページ及び在留資格が記載されているページ）又は在留カードの写し（表裏両面）を提出してください。
⑨返信用封筒 2 枚作成 ・受験票在中(長形 3 号) ・入学手続書類在中(角形 2 号)	・本要項に添付の返信用封筒を使用してください。 ・封筒には，志願者の住所，氏名及び郵便番号を記入してください。 ・受験票在中(長形 3 号)には，郵便切手 372 円分をはってください。 ・入学手続書類在中（角形 2 号）には，郵便切手をはる必要はありません。 ※転居等で受験票や合格通知書が未着となることがないように，変更があった場合は，速やかに出願書類等提出先に申し出てください。

［注］ (1) 出願書類等に不備がある場合には，受理しないことがあります。

(2) **英語以外の外国語で作成された書類等には，日本語訳を必ず添付してください。**

(3) 健康診断書の提出を求めていませんので，筆記試験及び口述試験の受験及び修学上の配慮を必要とする志願者は，出願前に申し出てください。

(4) 出願書類等については，本研究科入学者選抜において必要なため提出いただくものであり，これによって得た情報を，独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律第 9 条に規定されている場合を除き，出願者本人の同意を得ることなく他の目的で使用又は第三者に提供することはありません。

5　選抜方法

・入学者の選抜は，学力検査（筆記試験，口述試験）及び出願書類を総合して行います。

・学力検査について

① 筆記試験（英語あるいは，日本語）の実施科目は，各専攻等により異なりますので，37 ページに記載のコース主任（連絡先）に問い合わせてください。

② 口述試験については，「修士学位論文（又は研究経過報告書)」及び「研究計画書」を中心に行います。

6　学力検査期日及び時間割

【第3次募集】

(1)　学力検査期日　**平成 28 年（2016 年）2 月 22 日（月）**

(2)　時間割

① 筆記試験　10:30 ～12:00

② 口述試験　13:00 開始予定（詳細については，受験票送付の際に通知します。）

【第4次募集】

(1)　学力検査期日　**平成 28 年（2016 年）3 月 18 日（金）**

(2)　時間割

① 筆記試験　10:30 ～12:00

② 口述試験　13:00 開始予定（詳細については，受験票送付の際に通知します。）

7　試験場

新潟大学五十嵐キャンパス（新潟市西区五十嵐２の町 8050 番地）
なお，試験場（試験室）の詳細については，受験票送付の際に指示します。

受験票の送付予定日は，次のとおりです。
【第３次募集】　平成 28 年（2016 年）２月８日（月）
【第４次募集】　平成 28 年（2016 年）３月 14 日（月）

8　合格発表

【第３次募集】　平成 28 年（2016 年）３月９日（水）午前 10 時
【第４次募集】　平成 28 年（2016 年）３月 28 日（月）午前 10 時

新潟大学大学院自然科学研究科正面玄関において，合格者の受験番号を掲示により発表するとともに，合格者には合格通知書を送付します。
また,合格発表当日の 12 時頃に新潟大学大学院自然科学研究科ホームページにも合格者の受験番号を掲載します（http://www.gs.niigata-u.ac.jp/）。
なお，合否に関しての電話等による問い合わせには，一切応じません。

9　入学手続

入学手続の概要は，次のとおりです。詳細については，合格者に別途通知します。
(1) 入学手続期間
【第３次募集】
平成28年（2016年）3月24日（木）から3月25日（金）まで
【第4次募集】
平成28年（2016年）3月30日（水）から3月31日（木）まで
(2) 入学に要する経費
入学料　　282,000 円（予定額）
（注１）入学料改定が行われた場合には，改定時から新入学料が適用されます。
（注２）入学料を現金で振り込む場合には，金融機関の窓口において，振り込みを行う者の本人確認書類（運転免許証，健康保険証，パスポート等）の提示が必要となります。
本人確認書類の提示が無い場合には，現金による振り込みができませんので注意してください。
（注３）入学料免除等希望者は，入学手続時に入学料を納付しないでください。
（注４）入学料を納付後，入学手続期間内に入学手続を完了しなかった（入学を辞退したものとして取り扱われる）場合は，当該入学料を返還します。返還の請求については，新潟大学自然科学研究科学務係に照会してください。

10　授業料

年額　535,800 円（前期分 267,900 円，後期分 267,900 円）〔予定額〕
（注１）　授業料は，入学後，口座引き落としにより納付していただきます。
（注２）　授業料の納付方法の詳細については，合格者に別途通知します。
（注３）　在学中に授業料改定が行われた場合には，改定時から新授業料が適用されます。

11　入学料免除等について

下記のいずれかに該当する者のうち，入学手続期間内に所定の申請を行った者について，選考の上，入学料の全額又は半額を免除する制度があります。

また，入学料徴収猶予（延納）の制度もあります。

①　経済的理由により，入学料の納付が著しく困難であり，かつ，学業優秀と認められる者

②　入学前１年以内において，本学に入学する者の学資を主として負担している者（以下「学資負担者」という）が死亡し，又は本学に入学する者若しくは学資負担者が風水害等の災害を受けたことにより，入学料の納付が著しく困難であると認められる者

③　上記に準ずる場合であって，相当の事由があると認められる者

12　授業料免除等について

下記のいずれかに該当する者のうち，入学後，所定の期間内に申請を行った者について，選考の上，前期・後期ごとに授業料の全額又は半額を免除する制度があります。

また，授業料徴収猶予（延納又は月割分納）の制度もあります。

①　経済的理由により納付が困難であり，かつ，学業優秀と認められる場合

②　授業料の当該期の納期前６ヶ月以内（新入学者に対する入学した日の属する期分の免除に係る場合は，入学前１年以内）又は納期中に，学資負担者が死亡し，又は学生若しくは学資負担者が風水害等の災害を受け，納付が著しく困難であると認められる場合

③　上記に準ずる場合であって，学長が相当と認める事由がある場合

13　入学者選抜に用いた個人情報の取扱い

(1) 出願に当たってお知らせいただいた氏名，住所その他の個人情報については，①入学者選抜（出願処理，選抜実施），②合格発表，③入学手続，④入学者選抜方法等における調査・研究，分析及び⑤これらに付随する業務を行うために利用します。

(2) 入学者選抜に用いた試験成績の個人情報は，入学者選抜方法等における調査・研究，分析を行うために利用します。

(3) 出願に当たってお知らせいただいた個人情報及び入試成績は，入学者のみ入学後の①教務関係（学籍，修学指導等），②学生支援関係（健康管理，奨学金申請等），③授業料等に関する業務を行うために利用します。

また，個人情報のうち，合格者の氏名及び住所については，本学の同窓会及び後援会からの連絡を行うために利用する場合があります。

14　注意事項

(1) 出願後は，出願書類等の記載事項の変更は認めません。また，既納の検定料及び出願書類等は，返還しません。

ただし，検定料振り込み後，出願期間内に出願書類を提出しなかった場合は，当該検定料を返還しますので申し出てください。

(2) その他出願に際して疑問又は不明の点があれば，次に問い合わせてください。

新潟大学自然科学研究科学務係　TEL：(025)262-6109

15　参考事項

入学試験について

①　入学者の選抜は，21ページの「5 選抜方法」に記載してありますが，「修士学位論文（又は研究経過報告書）」及び「研究計画」が最も重視されます。

口述試験では，企業内部紀要，学会に発表した論文及び将来の研究計画等について試問をします。

②　19ページの「2 出願資格」の(6)，(7)又は(8)による志願者については，出願書類等を受理する前に出願資格の有無について，本研究科において「入学試験出願資格認定審査調書」及び著書，学術論文等の研究業績により審査をした上，出願資格を有すると認定された者に対して入学試験を実施します。

This is the English translation of the Japanese Application Guide.
The official version is the Japanese Application Guide.

【Entrance Examination for International Students】

1. Number of Students to be Admitted

Major	Number of Students	Major	Number of Students
Fundamental Sciences	Several	Life and Food Sciences	Several
Advanced Materials Science and Technology	Several	Environmental Science and Technology	Several
Electrical and Information Engineering	Several		

[Note] Before applying, applicants are required to contact a chair of the course to which they aim to be admitted (see page 38) or alternatively a contact member of the teaching staff (see page 45) to inquire about the contents of the education and research curriculum.

2. Eligibility for Application

An applicant is considered to be someone applying as an international student, conforming to any of the conditions listed below.

(1) Those who have a Master's degree or a professional degree (prescribed in Article 5- 2 of the Degree Regulations (Ordinance of the Ministry of Education, Science and Culture No. 9 of 1953) based on the provisions of the School Education Act, Article 104 - 1 (the same hereafter)) or those who expect to obtain such a degree by March, 2016.

(2) Those who have a degree equivalent to a Master's degree or a professional degree in a country other than Japan or those who expect to obtain such a degree by March, 2016. (Refer to [Note 1])

(3) Those who, while in Japan, have completed a course of study by a distance learning program provided by a school in a country other than Japan and have a degree equivalent to a Master's degree or a professional degree in that country, or those who expect to obtain such a degree by March, 2016. (Refer to [Note 1])

(4) Those who have a degree equivalent to a Master's degree or a professional degree upon completion of a course of graduate study, in Japan, that is conducted at an educational institution in a country other than Japan and recognized as being part of the educational system of the country, and that is specifically designated by the Minister of Education, Culture, Sports, Science and Technology, or those who expect to obtain such a degree by March, 2016.

(5) Those who have a degree equivalent to a Master's degree upon completion of a course of study at the United Nations University (hereinafter referred to as the "United Nations University") founded based on the United Nations General Assembly Resolution on December 11, 1972, prescribed in the Article 1-2 of the Act on Special Measures Incidental to Enforcement of the Agreement between the United Nations and Japan regarding the Headquarters of the United Nations University or those who expect to obtain such a degree by March, 2016.

(6) Those who have graduated from university and have engaged in research for a minimum of two years at a university, research institute, or other such institutions, and who, on the basis of the outcome (performance) of that research, are approved by the Graduate School of Science and Technology (hereafter the Graduate School) as having academic ability equivalent to or greater than those with a Master's degree. (Refer to [Note 2])

(7) Those who, after completing 16 years of school education in a country other than Japan or after completing 16 years of school education by a distance learning program in Japan provided by a school in a country other than Japan, have engaged in research at a university, research institute, or other such institutions for a minimum of 2 years and who, on the basis of the outcome (performance) of that research, are approved by the Graduate School as having academic ability equivalent to or greater than those with a Master's degree. (Refer to [Note 2])

(8) Those who, following the individual screening of their eligibility for application, are approved as having academic ability equivalent to or greater than those with a Master's degree or a professional degree and who will be 24 years old by March 31, 2016. (Refer to [Note 3])

[Note 1] "Master's degrees or professional degrees in a country other than Japan" is considered as degrees corresponding to "Master's degrees or professional degrees" awarded on the basis of the provision of the Article 104 of the School Education Act.

Those eligible to apply on the basis of (2) or (3) as outlined in the previous page should make inquiries to the Academic Affairs Division, Graduate School of Science and Technology, Niigata University (Tel. +81-25-262-6109), for further information. Submit the application documents as indicated by the Academic Affairs Division together with a return envelope (affix postage stamps to the value of 372 yen to a long self-addressed envelope including applicant's name and postal code) for the initial eligibility screening for application.

Submission deadlines of documents and the disclosing dates for the initial screening results are listed below.

【Tertiary Application】 Documents must arrive by **Thursday, January 7, 2016**
Initial screening results will be disclosed to applicants on Wednesday, January 20, 2016

【Quaternary Application】 Documents must arrive by **Wednesday, March 2, 2016**
Initial screening results will be disclosed to applicants on Tuesday, March 8, 2016

[Note 2] Those eligible to apply based on (6) or (7) above should refer to Appendix 1 (page 33)
[Note 3] Those eligible to apply based on (8) above should refer to Appendix 2 (page 35)

3. Application Period

【Tertiary Application】

Monday, January 25, 2016 – Wednesday, January 27, 2016 (applications must arrive within this period)

【Quaternary Application】

Tuesday, March 8, 2016 – Thursday, March 10, 2016 (applications must arrive within this period)

4. Application Procedure

(1) Method of Application

Applicants should enclose the following documents in the envelope provided with this application guidebook and either mail or alternatively bring it in person to the following address. This must be done within the application period.

(2) Submission of Application Documents:

Academic Affairs Division, Graduate School of Science and Technology, Niigata University
8050 Ikarashi 2 no-cho, Nishi-ku, Niigata City, Niigata 950-2181 Japan Tel. +81-25-262-6109

・Submission in person: Application documents will be accepted from 9:00 to 17:00.
・Submission by mail: Registered express mail must be used, and **please mark "Entrance Examination for International Students" in red on front side of the envelope**.

(3) Application Documents

Type of Document	Instructions
① Application Form（「平成28年度新潟大学大学院自然科学研究科博士後期課程入学願書」） Examination Card（「受験票」） Photograph Card（「写真票」） Curriculum Vitae（「履歴書」）	・Use the designated form attached with this application guidebook. ・Be sure to affix the "Examination Fee Payment Certificate (for submission to Niigata University)" in the space provided on the application form (Make sure that the financial institution handling the payment has pressed the certificate with a receipt stamp.) ・Affix the photograph in the space provided on the photograph card. (This photograph should have been taken within three months prior to application and should be 4cm long by 3cm wide, clearly displaying a frontal, hatless view of the applicant's upper body.) ・If the applicant intends to wear glasses when taking the examination, he or she should also wear glasses when having the photograph taken.

② Certificate of (Expected) Completion of Master's Program (Professional Degree) or Certificate of (Expected) Master's Degree Conferral	・Submit a certificate issued by the Dean of the graduate school or the President of the university where the applicant attended or is currently enrolled in. ・In case the acquired degree is not stated on the Certificate of (Expected) Completion, please submit the Certificate of (Expected) Degree Conferral.
③ Academic Transcript	・Submit an official academic transcript issued by the Dean of the graduate school or the President of the university where the applicant attended or is currently enrolled in a sealed envelope.
④ Examination Fee Payment Certificate （「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」）	・Complete the required sections in the attached "Request for Payment by Bank Deposit Transfer (Entrance Examination Fee for Doctoral Program at the Graduate School of Science and Technology, Niigata University)"（「振込依頼書（新潟大学大学院自然科学研究科博士後期課程入学試験検定料）」), "Transfer Payment and Transfer Fee Receipt (retained by the applicant)"（「振込金及び手数料領収書（志願者保存）」）, and "Examination Fee Payment Certificate (for submission to Niigata University)"（「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」）. Once they are completed, after verifying the following points, take them without detaching to a financial institution (excluding Yuucho Banks and Post Offices) and pay the examination fee of 30,000 Japanese yen at the counter. Finally, affix the Examination Fee Payment Certificate (for submission to Niigata University) in the space provided on the application form for submission. Applicants are required to bear the cost of the transfer fee. ① Please write the applicant's name in the space for providing the name of the person requesting the transfer. ② The examination fee must be paid within the period outlined below. (*A payment cannot be made on Saturdays, Sundays, and Japanese national holidays.) **【Tertiary Application】** From **Friday, January 15, 2016,** to 15:00 on **Wednesday, January 27, 2016** **【Quaternary Application】** From **Monday, February 29, 2016,** to 15:00 on **Thursday, March 10, 2016** ③ An ATM (Automated Teller Machine) cannot be used to transfer payment.
⑤ Master's Thesis and Others	・Submit a copy of the Master's thesis or the summary (in about 2,000 Japanese characters) if the applicant has a Master's degree. ・If the applicant cannot submit the Master's thesis because he or she has not yet completed the Master's program, submit a Research Progress Report, noting details of his or her research progress in the Master's program (Use the attached form).
⑥ Research Plan Form	・Use the attached form to provide details of the applicant's research and study plan.
⑦ Letter of Consent for Taking Examination [Only to be submitted by those applicable to the conditions mentioned in the right]	・Applicants who are currently employed in an educational institution, a research institution, a local government body, or a corporation and who wish to apply for admission while remaining in employment (excluding those who are employed outside Japan) should submit a Letter of Consent for Taking Examination (Use the attached form) issued by the head or representative of their affiliated institution, corporation, etc. ・Applicants who intend to resign their employment post after passing the examination are required to provide a letter explaining their intention to resign from their post instead of a Letter of Consent for Taking the Examination. In this case, applicants are required to provide a certificate of resignation (or certificate of intention to resign) during the admission procedure.
⑧ Copies of Passport or Residence Card	・Non-Japanese applicants should submit copies of their passport (showing residential status and photograph) or both front and back copies of their Residence Card.

⑨ Return Envelopes 2 Envelopes ・1 *Envelope containing Examination Card* (long envelope) ・1 *Envelope containing Admission Procedure Documents* (square envelope)	・Use the return envelopes attached with this application guidebook. ・Fill out the envelopes with the applicant's name, address, and postal code. ・Affix postage stamps to the value of 372 yen onto the long *envelope containing examination card* (「受験票在中」). ・It is not necessary to affix postage stamps onto the square *envelope containing admission procedure documents* (「入学手続書類在中」). * Applicants should notify the Graduate School immediately in the event of changing their addresses, as otherwise the examination cards or the admission letters may not be delivered properly.

［Notes］(1) Please be aware that inadequately completed application documents may not be accepted.

(2) **Please note that a Japanese translation must be appended to all documents that are made in a foreign language other than English.**

(3) Although the submission of a health certificate is not mandatory, those who require attention for the written and oral examinations or/and study should make their needs known before applying.

(4) Submitted application documents are used for the purposes of selecting students for the Graduate School, and the information obtained will not be used for any other purposes or provided to any third party without the prior consent of the applicant, except in cases prescribed by Article 9 of the Law relating to the protection of personal information retained by independent administrative institutions.

5. Selection Method

・ Academic examinations (written and oral) and application documents are all taken into consideration when selecting students.

・ Academic Examinations

① Since subjects for the written examinations (Japanese or English) differ according to each course, please contact a chair of the course to which you are applying for details (see page 38).

② Master's thesis (or Research Progress Report) and the Research Plan are used as the main reference materials for the oral examination.

6. Examination Schedule

【Tertiary Application】

(1) Date **Monday, February 22, 2016**

(2) Time

① Written Examination 10:30 – 12:00

② Oral Examination Scheduled to start at 13:00

(Detailed information will be notified to the applicant together with the examination card by mail.)

【Quaternary Application】

(1) Date **Friday, March 18, 2016**

(2) Time

① Written Examination 10:30 – 12:00

② Oral Examination Scheduled to start at 13:00

(Detailed information will be notified to the applicant together with the examination card by mail.)

7. Examination Venue

Niigata University Ikarashi Campus (8050 Ikarashi 2 no-cho, Nishi-ku, Niigata City)

Detailed information on the examination venue (examination room) will be notified to the applicant together with the examination card by mail.

Examination cards are scheduled to be mailed out to the applicants on the following dates:

【Tertiary Application】 **Monday, February 8, 2016**

【Quaternary Application】 **Monday, March 14, 2016**

8. Announcement of Admission Decision

【Tertiary Application】 10:00 on **Wednesday, March 9, 2016**

【Quaternary Application】 10:00 on **Monday, March 28, 2016**

・The examinee numbers of successful applicants will be posted on the bulletin board in the front hall of the Graduate School of Science and Technology, Niigata University, and admission letters will also be issued to successful applicants by mail.

・The examinee numbers of successful applicants will also be made available online (http://www.gs.niigata-u.ac.jp/) around 12:00 of the day of the announcement.

・No telephone inquiries about the test results will be accepted.

9. Admission Procedure

The following is the general information about the university admission procedure. Detailed information will be notified to successful applicants.

(1)Admission Procedure Period

【Tertiary Application】

From Thursday, March 24, 2016, to Friday, March 25, 2016

【Quaternary Application】

From Wednesday, March 30, 2016, to Thursday, March 31, 2016

(2) Entrance Fee

Entrance Fee 282,000 Japanese yen (provisional)

[Note 1] If the entrance fee is revised, the new fee will apply from the date of revision.

[Note 2] Those paying their entrance fee in cash by bank transfer are required to present their personal identification documents (driver's license, health insurance card, passport, etc.) at the counter of the financial institution from which they are transferring money.

Please be aware that it is not possible to pay in cash without presenting some personal identification documents.

[Note 3] Those who wish to be exempted from paying the entrance fee should not pay it during the admission procedure.

[Note 4] Those who have not completed the admission procedure within the specified period after paying the entrance fee (considered as admission refusal) will have the entrance fee fully reimbursed. Enquiries about reimbursement of entrance fee should be addressed to the Academic Affairs Division, Graduate School of Science and Technology, Niigata University.

10. Tuition

Tuition is 535,800 Japanese yen per annum (first semester 267,900 yen, second semester 267,900 yen) (provisional)

[Note 1] Tuition should be paid by direct debit subsequent to admission.

[Note 2] Detailed information about payment method for tuition will be notified to successful applicants.

[Note 3] If tuition is revised while students are enrolled, the new amount will apply from the date of revision.

11. Entrance Fee Exemption

There is a program under which consideration can be given to exempt all or half of the entrance fee for applicants who apply for the program during the prescribed admission period and who meet any of the criteria listed below.

There is also a program where payment of the entrance fee may be postponed (deferred payment).

(1) Outstanding students who, for economic reasons, have difficulty in paying the entrance fee.

(2) Students who have great difficulty in paying the entrance fee in the event that during the year preceding their admission either the person mainly responsible for paying the tuition (hereinafter “tuition fee payer”) died, or because of other mitigating circumstances such as either the student or the tuition fee payer being a victim of storm or flood damage.

(3) Applicants deemed by the university as having circumstances or reasons comparable to those mentioned above.

12. Tuition Exemption

There is a program under which students may be exempted from paying all or half of the tuition (following consideration) if they apply for the program within the prescribed period after admission and meet any of the criteria listed below.

There is also a program under which payment of tuition may be postponed (deferred payment or payment by installment).

(1) Outstanding students who, for economic reasons, have difficulty in paying their tuition.

(2) Students who have great difficulty in paying their tuition in the event that during the six months preceding their admission (or within one year prior to admission if only applying for the tuition exemption for the semester that the newly admitted students entered the university) or during the payment period, the tuition fee payer died or because of other mitigating circumstances such as either the student or the tuition fee payer being a victim of storm or flood damage.

(3) Applicants deemed by the university as having circumstances or reasons comparable to those mentioned above.

13. Handling of Personal Information used in Selection of Students for Admission

(1) Names, addresses and other personal information communicated at the time of application are used for the following purposes: ① selection of students for admission (application processing, selection), ② admission announcements, ③ admission procedure, ④ surveys, studies, and analyses relating to the method of selecting students for admission, and ⑤ carrying out any other work associated with these.

(2) Personal information about examination results used in selecting students for admission is used for surveys, studies and analysis relating to the method of selecting students for admission.

(3) Personal information that are provided at the time of application and entrance examination results of the successful applicants are used after admission for the following: ① academic affairs matters (university register, study guidance, etc.), ② student support matters (health care, scholarship applications, etc.), ③ matters related to tuition, etc.

Personal information, such as names and addresses of successful applicants, may be used to enable class reunions and support groups at this university to contact them.

14. Important Points

(1) After submission, no alterations may be made to information in the application documents. Furthermore, examination fee and application documents cannot be returned once they have been submitted.
However, in the event that the applicant does not submit the application documents within the application period subsequent to having paid the examination fee by bank transfer, he or she should apply to have the examination fee reimbursed.

(2) For any additional questions or queries about application, please do not hesitate to contact the Academic Affairs Division, Graduate School of Science and Technology, Niigata University Tel. +81-25- 262-6109.

15. Reference

Regarding Entrance Examination

(1) Selection method of students to be admitted is mentioned in “5. Selection Method” on page 28. The highest emphasis will be placed on “Master’s thesis (or Research Progress Report)” and “Research Plan Form.” In the oral examination, there will be questions about internal bulletins of companies, theses presented at academic conferences, and future research plans.

(2) For applicants who apply on the basis of (6), (7), or (8) in “2. Eligibility for Application” on page 25, the Graduate School will first conduct an eligibility screening for application and review publications, academic papers, and research outcomes. Those who passed the screening will be eligible to take an entrance examination.

V　各入試共通事項

別紙 1

「大学を卒業し，大学，研究所等において，2 年以上研究に従事した者で，本研究科において，当該研究の成果等により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの」及び「外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後，又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後，大学，研究所等において，2 年以上研究に従事した者で，本研究科において，当該研究の成果等により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めたもの」の出願資格等について

○　本研究科において，次の(1)及び(2)の要件を満たす者について審査し，出願資格を認定します。

(1) 日本の大学を卒業し，又は外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後，教育機関・研究機関及び企業等において，2 年以上（社会人特別入試にあっては，4 年以上（13 ページの「2 出願資格(6)，(7)」に定める「研究に従事した 2 年以上の期間」を含む)）研究に従事した者であること。

(2) 著書，学術論文，学術講演，学術報告，特許等において，修士論文と同等以上の価値があると認められる研究業績を有する者であること。

○　事前審査を行いますので，志願者は，次表の「審査書類等」と「4 出願手続」に記載の「出願書類等（①の入学願書・受験票・写真票，④の検定料納付証明書を除く）」を一括して，第 3 次募集にあっては**平成 28 年 1 月 7 日（木）まで**に，第 4 次募集にあっては**平成 28 年 3 月 2 日（水）までに**新潟大学自然科学研究科学務係に持参又は郵送（必着）してください。

（**提出する証明書等の関係書類（英語以外の外国語）は，必ず日本語の訳文を添付してください。**）

なお，「5 選抜方法」の出願書類には，次表の審査書類を含みます。

この出願資格によって出願する者については，本研究科において事前審査を行いますので，これが終了するまでは，出願書類等の受理を保留します。

また，事前審査の結果は，第 3 次募集にあっては**平成 28 年 1 月 20 日（水）付けで**，第 4 次募集にあっては**平成 28 年 3 月 8 日（火）付け**で本人あて通知します。出願資格の認定を受けた者は，所定の期間内に本要項に添付の「振込依頼書（新潟大学大学院自然科学研究科博士後期課程入学試験検定料）・振込金及び手数料領収書（志願者保存）・検定料納付証明書（新潟大学提出用）」に必要事項を記入し，切り離さずに最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行及び郵便局を除く）に持参し，窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際，必ず取扱金融機関収納印欄に押印を受けてください。 その後，出願期間内（必着）に入学願書・受験票・写真票を提出してください。

［審査に必要な書類等］

審査書類等	摘　　要
(1) 卒業証明書	・出身大学長又は学部長が作成したものを提出してください。
(2) 学業成績証明書	・出身大学長又は学部長が作成したものを提出してください。
(3) 入学試験出願資格認定審査調書	・本要項に添付の所定用紙に記入してください。
(4) 研究業績書	・本要項に添付の所定用紙に，著書，学術論文，学術講演，学術報告及び特許等を記載し，その業績を表す文書等の写しを添付してください。
(5) 研究経過報告書	・本要項に添付の所定用紙に，大学卒業後の教育機関，研究機関及び企業等における調査研究等を詳細に記載してください。
(6) 返信用封筒（審査結果通知用）	・封筒（長形 3 号）に志願者の住所，氏名及び郵便番号を明記し，郵便切手 372 円分をはったものを提出してください。

別紙 2

「本研究科において，個別の入学資格審査により，修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で，平成 28 年 3 月 31 日までに 24 歳に達するもの」の出願資格等について

本研究科において，入学希望者個人の能力等の個別審査により出願資格を認定します。

1　出願資格審査対象者

個別の出願資格審査の対象となる者は，短期大学，高等専門学校，専修学校，各種学校の卒業者やその他の国内外の教育施設の修了者等で，平成 28 年 3 月 31 日までに 24 歳に達するものです。

2　出願資格審査方法等

出願資格審査では，上記学校等での学習内容，卒業（修了）後の教育機関，研究機関及び企業等においての実務・研究内容並びに著書，学術論文，学術講演，学術報告及び特許等を審査します。

出願資格審査で「修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者」に本研究科への出願資格を認め，出願書類を受理します。

なお，「5 選抜方法」の出願書類には，次表の審査書類を含みます。

3　出願資格審査結果通知

出願資格審査の結果は，第 3 次募集にあっては**平成 28 年 1 月 20 日（水）付け**で，第 4 次募集にあっては**平成 28 年 3 月 8 日（火）付け**で本人あて通知します。出願資格の認定を受けた者は，所定の期間内に本要項に添付の「振込依頼書（新潟大学大学院自然科学研究科博士後期課程入学試験検定料）・振込金及び手数料領収書（志願者保存）・検定料納付証明書（新潟大学提出用）」に必要事項を記入し，切り離さずに最寄りの金融機関（ゆうちょ銀行及び郵便局を除く）に持参し，窓口で所定の検定料を振り込んでください。その際，必ず取扱金融機関収納印欄に押印を受けてください。その後，出願期間内（必着）に入学願書・受験票・写真票を提出してください。

4　出願資格審査手続等

出願資格審査を受けようとする者は，次表の「審査書類等」と「4 出願手続」に記載の「出願書類等（①の入学願書・受験票・写真票，④の検定料納付証明書を除く）」を一括して，第 3 次募集にあっては**平成 28 年 1 月 7 日（木）まで**に，第 4 次募集にあっては**平成 28 年 3 月 2 日（水）までに**新潟大学自然科学研究科学務係に持参又は郵送（必着）してください。

（**提出する証明書等の関係書類（英語以外の外国語）は，必ず日本語の訳文を添付してください。**）

なお，審査書類等を提出する前に必ず志望する教育研究分野の担当教員又はコース主任の指示を受けてください。

〔審査に必要な書類等〕

審査書類等	摘　　要
(1) 卒業（修了）証明書	・出身学校長が作成したものを提出してください。 ・短期大学又は高等専門学校の専攻科等の修了者は，短期大学又は高等専門学校の卒業証明書と専攻科等の修了証明書を提出してください。
(2) 学業成績証明書	・出身学校長が作成したものを提出してください。 ・短期大学又は高等専門学校の専攻科等の修了者は，短期大学又は高等専門学校の成績証明書と専攻科等の成績証明書を提出してください。
(3) 入学試験出願資格認定審査調書	・本要項に添付の所定用紙に記入してください。
(4) 研究業績書	・本要項に添付の所定用紙に，著書，学術論文，学術講演，学術報告及び特許等を記載し，その業績を表す文書等の写しを添付してください。
(5) 研究経過報告書	・本要項に添付の所定用紙に，学校等卒業（修了）後の教育機関，研究機関及び企業等における調査研究等（短期大学又は高等専門学校の専攻科等の修了者は，専攻科等における研究状況等を含む。）を詳細に記載してください。
(6) 返信用封筒（審査結果通知用）	・封筒（長形 3 号）に志願者の住所，氏名及び郵便番号を明記し，郵便切手 372 円分をはったものを提出してください。

Appendix 1

Regarding application eligibility for "those who have graduated from university and have engaged in research for a minimum of two years at a university, research institute, or other such institutions, and who, on the basis of the outcome (performance) of that research, are approved by the Graduate School as having academic ability equivalent to or greater than those with a Master's degree" and "those who, after completing 16 years of school education in a country other than Japan, or after completing 16 years of school education by a distance learning program in Japan provided by a school in a country other than Japan, have engaged in research at a university, research institute, or other such institutions for a minimum of 2 years and who, on the basis of the outcome (performance) of that research, are approved by the Graduate School as having academic ability equivalent to or greater than those with a Master's degree"

○The Graduate School will confirm the eligibility for application by screening applicants who fulfill the following conditions in (1) and (2).

(1) Those who have graduated from a Japanese university or have completed 16 years of school education in a country other than Japan and have more than 2 years of research experience at an educational institution, a research institution, or a corporation (more than 4 years for those who wish to take an entrance examination for working students, including "2 or more years of research experience" stipulated in "2. Eligibility for Application (6), (7)" on page 13).

(2) Those who, concerning publications, academic theses, academic papers, academic lectures, academic reports, and patents, are considered to have research achievements that are equal to or superior than in value to a Master's thesis.

○**An eligibility screening** will be carried out. Thus, those wishing to apply should submit "Screening Documents" listed in the table below with "Application Documents" (excluding the application form, examination card, and photograph card in ① and the examination fee payment certificate in ④) detailed in "4. Application Procedure" by mail or in person to the Academic Affairs Division, Graduate School of Science and Technology, Niigata University.

The submission deadline for the tertiary application is **Thursday, January 7, 2016**, and the deadline for the quaternary application is **Wednesday, March 2, 2016**.

(A Japanese translation must be appended for any documents, including certificates, which are in a foreign language other than English).

The "application documents" mentioned in "5. Selection Method" includes the screening documents in the following table. Regarding those applying with the above application eligibility, the Graduate School will defer accepting application until the eligibility screening process is completed.

Results of the eligibility screening will be sent to the applicants as follows: For the tertiary application, results will be sent on **Wednesday, January 20, 2016**, and results for the quaternary application will be sent on **Tuesday, March 8, 2016**.

Those who have received the confirmation of eligibility should, within the specified period, complete the required areas in the attached "Request for Payment by Bank Deposit Transfer (Entrance Examination Fee for Doctoral Program at Graduate School of Science and Technology, Niigata University)" (「振込依頼書（新潟大学大学院自然科学研究科博士後期課程入学試験検定料）」), "Transfer Payment and Transfer Fee Receipt (retained by the applicant)" (「振込金及び手数料領収書（志願者保存）」), and "Examination Fee Payment Certificate (for submission to Niigata University)" (「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」). Take them without detaching to a financial institution (excluding Yuucho Banks and Post Offices) and pay the examination fee at the counter. After payment, affix the Examination Fee Payment Certificate in the space provided on the application form, and then submit the application form, examination card, and photograph card within the application period.

[Documents Required for Screening]

Screening Document	Instructions
(1) Certificate of Graduation	・Submit a certificate issued by the President of the university or the Dean of the faculty where the applicant attended.
(2) Academic Transcript	・Submit an official transcript issued by the President of the university or the Dean of the faculty where the applicant attended.
(3) Eligibility Screening Application Form for Entrance Examination	・Complete the designated form attached with this application guidebook.
(4) Research Achievement	・Complete the attached form and submit with a copy of a document which includes

Report	the applicant's achievement details such as publications, academic theses, academic papers, academic lectures, academic reports, patents, etc.
(5) Research Progress Report	・Use the attached form to provide details of research and study at educational institutions, research institutions, and corporations after graduating from university.
(6) Return Envelope (For announcing result of screening)	・Clearly mark a long envelope with the name, address and postal code of the applicant and affix postage stamps to the value of 372 yen.

Appendix 2

Regarding application eligibility for "those who, following the individual screening of their eligibility for application, are approved as having academic ability equivalent to or greater than those with a Master's degree or a professional degree and who will be 24 years old by March 31, 2016"

The Graduate School will confirm the eligibility for application through individual screening, including the ability of each applicant.

1. Applicants subject to Screening for Eligibility

Applicants subject to screening for eligibility are those who have completed education at junior colleges, technical colleges, vocational colleges, and other kinds of schools, and those who have completed education at other educational institutions in Japan or a country other than Japan, and who will be 24 years old by March 31, 2016.

2. Screening Method for Eligibility

The eligibility screening will look into the followings: details of studies at above-mentioned schools, details of practical work experience, and research details at educational institutions, research institutions, or corporations following graduation, including publications, academic theses, academic papers, academic lectures, academic reports, and patents, etc.

The eligibility screening will be conducted to confirm the eligibility to apply for the Graduate School as "those approved to have academic ability equivalent to or greater than those with a Master's degree," and then, application will be accepted.

3. Announcement of Results for Eligibility Screening

Results of the eligibility screening will be sent to the applicants as follows: For the tertiary application, results will be sent on **Wednesday, January 20, 2016**, and results for the quaternary application will be sent on **Tuesday, March 8, 2016**.

Those who have received the confirmation of eligibility should, within the specified period, complete the required areas in the attached "Request for Payment by Bank Deposit Transfer (Entrance Examination Fee for Doctoral Program at the Graduate School of Science and Technology, Niigata University)" (「振込依頼書（新潟大学大学院自然科学研究科博士後期課程入学試験検定料）」), "Transfer Payment and Transfer Fee Receipt (retained by the applicant)" (「振込金及び手数料領収書（志願者保存）」), and "Examination Fee Payment Certificate (for submission to Niigata University)" (「検定料納付証明書（新潟大学提出用）」). Take them without detaching to a financial institution (excluding Yuucho Banks and Post Offices) and pay the examination fee at the counter. After payment, affix the Examination Fee Payment Certificate in the space provided on the application form, and then submit the application form, examination card, and photograph card within the application period.

4. Procedure for Eligibility Screening

Those who wish to apply for the eligibility screening should submit the "Screening Documents" in the following table with the "Application Documents" (excluding the application form, examination card, and photograph card in ① and the examination fee payment certificate in ④) detailed in "4. Application Procedure" by mail or in person to the Academic Affairs Division, Graduate School of Science and Technology, Niigata University.

The submission deadline for the tertiary application is **Thursday, January 7, 2016**, and the deadline for the quaternary application is **Wednesday, March 2, 2016**.

(A Japanese translation must be appended for any documents, including certificates, which are in a foreign language other than English).

Before applying, applicants are required to contact a chair of the course to which they aim to be admitted or a contact member of the teaching staff.

[Documents Required for Screening]

Screening Document	Instructions
(1) Certificate(s) of Graduation (or Completion)	・Submit a certificate issued by the President of the applicant's university. ・Applicants who have completed an advanced course at a junior college or technical college must submit certificates of graduation and completion of the advanced programs of the junior college or technical college.
(2) Academic Transcript(s)	・Submit an official transcript issued by the President of the applicant's university. ・Applicants who have completed an advanced course at a junior college or technical

	college must submit academic transcripts and the transcripts of the advanced programs of junior college or technical college.
(3) Eligibility Screening Application Form for Entrance Examination	・Complete the designated form attached in this application guidebook.
(4) Research Achievement Report	・Complete the attached form and submit with a copy of a document which includes the applicant's achievement details such as publications, academic theses, academic papers, academic lectures, academic reports, patents, etc.
(5) Research Progress Report	・Use the attached form to provide details of research and study at educational institutions, research institutions, and corporations, after graduating from school (or completion), including research details for advanced course for those who have completed non-university degrees at junior colleges or technical colleges.
(6) Return Envelope (For announcing result of screening)	・Clearly mark a long envelope with the name, address and postal code of the applicant and affix postage stamps to the value of 372 yen.

コース主任（連絡先）一覧表

専攻名	コース名	コース主任	連絡先電話番号
数理物質科学専攻	物理学	小池　裕司	(025)262-6153
	化学	俣野　善博	(025)262-7734
	数理科学	三浦　毅	(025)262-6123
材料生産システム専攻	機能材料科学	八木　政行	(025)262-6790
	素材生産科学	金　熙濬	(025)262-7538
	機械科学	松原　幸治	(025)262-7260
電気情報工学専攻	情報工学	山﨑　達也	(025)262-7499
	電気電子工学	福井　聡	(025)262-6731
	人間支援科学	林　豊彦	(025)262-7339
生命・食料科学専攻	基礎生命科学	内海　利男	(025)262-7792
	応用生命・食品科学	末吉　邦	(025)262-6644
	生物資源科学	木南　莉莉	(025)262-6870
環境科学専攻	自然システム科学	酒泉　満	(025)262-6368
	流域環境学	中野　和弘	(025)262-6648
	社会基盤・建築学	岡崎　篤行	(025)262-7208
	地球科学	小西　博巳	(025)262-6187
	災害環境科学	福岡　浩	(025)262-7055

List of Persons in Charge of Courses

Major	Course	Name of the chair	Contact Tel.
Fundamental Sciences	Physics	Yuji Koike	(025)262-6153
	Chemistry	Yoshihiro Matano	(025)262-7734
	Mathematical Science	Takeshi Miura	(025)262-6123
Advanced Materials Science and Technology	Materials Science and Technology	Masayuki Yagi	(025)262-6790
	Applied Chemistry and Chemical Engineering	Hee Joon Kim	(025)262-7538
	Advanced Mechanical Science and Engineering	Koji Matsubara	(025)262-7260
Electrical and Information Engineering	Information Engineering	Tatsuya Yamazaki	(025)262-7499
	Electrical and Electronic Engineering	Satoshi Fukui	(025)262-6731
	Human Sciences and Assistive Technology	Toyohiko Hayashi	(025)262-7339
Life and Food Sciences	Life Sciences	Toshio Uchiumi	(025)262-7792
	Applied Life and Food Sciences	Kuni Sueyoshi	(025)262-6644
	Agriculture and Bioresources	Lily Kiminami	(025)262-6870
Environmental Science and Technology	Natural Environmental Science	Mitsuru Sakaizumi	(025)262-6368
	Environmental Science for Agriculture and Forestry	Kazuhiro Nakano	(025)262-6648
	Architecture and Civil Engineering	Atsuyuki Okazaki	(025)262-7208
	Earth Science	Hiromi Konishi	(025)262-6187
	Natural Disaster and Environmental Science	Hiroshi Fukuoka	(025)262-7055

Ⅵ　自然科学研究科の概要
（博士後期課程）

（1）専攻・コースの概要

【1．数理物質科学専攻】

前期課程の教育研究をふまえて，さらにさまざまな自然構造の法則の探求や，謎の解明についての教育研究を行います。物質反応の機構解明と新素材の探求，さらに数理科学的な各種現象の数学上の諸課題について，自ら能動的に対処できる幅広い見識と独創性に富んだ研究能力を持った人材育成を目指します。

コース名	コースの概要
物理学	量子科学の分野では，本学に設置されている大型装置（ヘリウム液化機，強磁場発生装置，X 線構造解析装置，高圧発生装置，並列計算用 PC クラスターなど）を中心に，従来の枠組み（物性物理学）を越えて量子科学の分野で最先端の研究を行います。粒子・宇宙物理学の分野では，宇宙に於ける自然現象の法則，物質の基本構成要素としての素粒子，原子核のさまざまな階層の物質の性質とそれを発現するミクロなメカニズムを，基本粒子間の力とその基本量子法則に基づいて探求します。重粒子物質科学の分野では，理化学研究所の重イオン加速器を用いて色々な重粒子を利用した最先端の物質科学に関する教育研究を行います。
化学	原子核から無機物質，有機物質，生体高分子におよぶ様々な物質の化学的性質，構造や反応について，実験および理論に基づき原子・分子レベルから解明します。重元素の核的・化学的性質の解明，イオン・分子間の反応機構の解明とレーザー場による反応制御，物質の固体や液体状態の構造とダイナミクスの解明，化学反応の量子状態ごとの基礎過程解明とデータ解析法，電子およびスピン制御による新機能材料の開発，微量金属イオンの溶液内反応と構造に基づく分離・濃縮定量法の開発，有機化合物の構造と反応機構に基づく新合成法開発と機能物質創製，ゲノム情報を利用した生体高分子の機能解析と生体組織の高次機能解明について高度な教育研究を行います。
数理科学	情報数理科学に現れる数理的構造や複雑な自然現象および社会現象等を数学的対象として捉えることにより，数学および情報数理の立場からこれらの現象やその構造を解明することのできる人材の育成を目指して教育研究を行います。その中で関数空間の構造とその上の作用素の構造，作用素及び関数からなる環の構造について教育研究を行います。また，代数幾何学，数論，トポロジー，微分幾何学の理論についての教育研究を行い，情報科学における諸分野への応用についても考察します。さらに，数式処理や暗号・符号などの代数理論，時系列解析や数理ファイナンスなどの数理統計学の理論とその応用，数理計画や OR などの最適化理論などの情報科学について教育研究を行います。

【２．材料生産システム専攻】

本専攻は，材料系，化学系，機械系の教員で構成され，原子・分子の構造制御による革新的材料の創製，界面制御による異種材料の複合化，高機能性材料の化学的開発と環境調和型生産プロセスになどに関する教育研究を行います。また，前期課程の教育研究の一貫性を踏まえ，知的材料の開発研究から実製品への応用開発や循環型社会形成に必要な廃棄･再資源化を考慮した材料開発に対応できる材料に関する高度な総合科学的知識を身につけた問題解決能力を有する人材の育成を行います。

コース名	コースの概要
機能材料科学	次世代機能性材料の先進的創製に向けた物性探索・解明，材料設計・開発および評価に関する基礎研究を行います。超伝導材料，磁性材料，光電エネルギー変換半導体材料，金属－水素系材料，低エネルギー回収材料，エネルギー変換材料，有機・無機材料，ハイブリッド材料，分離材料，生体模倣材料，生体触媒材料，再生医療材料などに関する多様な機能性ナノ材料を主な研究対象として，原子･分子レベルでの物性探索・解明，材料設計・開発および評価に関する先端技術を習得するとともに，関連分野で先導的に社会貢献できる研究者・技術者を育成するための総合的教育研究を行います。
素材生産科学	２１世紀に入り材料として高付加価値化，超機能付与化，ナノレベル化による新規機能などの要素が強く求められています。本コースではこのような戦略的先端材料に必要な素材の創製に関する総合的な教育研究を以下の観点より行います。分子・原子のミクロな立場から最先端機能性物質の創製と最先端のナノテクノロジー的観点に基づく素材機能の創製と最適化に関する教育研究，天然素材からの新規機能性物質の探索とその評価方法論に関する教育研究，ならびに人間生活に密接に関係する素材および材料の環境調和型効率的生産システムと環境保全技術の構築に関わる総合的な教育研究を行います。以上の教育研究活動を通じてこの分野での有能な研究者を育成することを目的としています。
機械科学	ナノからマクロのスケールにわたり，機械，装置，材料，構造物等の統合科学を重視します。例えば，機械装置の超機能化と極小化を通して，生産システムの革新的な極小化を追求します。また，環境に配慮した低負荷型の製造技術を開発したり，新しく開発された機器や装置の安定性と安全性評価を行います。さらには，学際領域としてナノテクを医療分野に応用したり，生体機械工学に基づくナノメディスンを推進しています。このような統合科学の視点に立脚し，社会が強く求める次世代中核技術を担う人材の育成を目指した教育研究を行います。

【３．電気情報工学専攻】

２１世紀の科学技術の中心を担う電気情報工学における，複雑多様な事象について理論的に解明ができ，複合系の現象の解析能力を備え，電気情報工学をベースとする技術，機能，部品，システムなどを人間社会に役立つように設計，運用，展開ができ，電気情報工学に関する高度な専門性と幅広い視点をもつ研究者・専門的職業人を育成します。

コース名	コースの概要
情報工学	本コースでは，高度情報化社会の発展を支える先端的な知能情報，および，情報通信分野の教育と研究を行います。知能情報分野においては，特に，メディア情報の分析と生成，人間とコンピュータ間の円滑な情報交換技術，人工知能，自然言語処理，機械翻訳，空間情報システム，数理的アプローチによる分析と構成手法の確立などの教育研究に力を入れています。また，情報通信分野においては，特に，移動通信，アドホックネットワーク，無線メッシュネットワーク，波動情報工学に関する先端技術の教育研究を行います。これらを通して，世界に通用する技術者・研究者の育成を目指します。
電気電子工学	電力・エネルギーシステムやエレクトロニクス，情報通信システムなど，社会の発展を支える電気電子工学の分野，およびそれらの学際的分野や新分野に関する教育研究を行います。特に，電力・エネルギー機器，プラズマ理工学，超伝導電力システム，超伝導応用工学，薄膜工学，有機エレクトロニクス，バイオエレクトロニクス，分子・光電子デバイス，ナノフォトニクス，量子エレクトロニクス，光応用計測，光画像処理，通信システム，信号処理工学，画像工学，映像情報処理などに関する最先端の研究を行うとともに，グローバルに活躍できる電気電子技術者や研究者を育成する教育を行います。
人間支援科学	生体計測・制御，生体生理工学，生体信号処理・解釈，生体情報の可視化，ヒューマンインターフェイス，医用機器，バイオメカニクスに関する生体医工学，また，メカトロニクスなどのデバイス技術や計測制御技術を用いて人の機能を支援・拡張するシステム，高度情報システムを用いた障害者の自立生活支援システムに関する支援機器工学，さらに，高齢者・障害者などの自立支援や人々の健康の維持増進を目的として，生活・社会環境の分析と最適制御，スポーツ科学，ウェルネス論，人間工学，ユニバーサルデザイン，リハビリテーション工学に関する生活支援科学の各分野に関する教育・研究を行います。

【４．生命・食料科学専攻】

生命の基本原理の解明のみならず,分子から個体までの生命現象の解明とその幅広い応用面への活用や地球環境の変動や食料など，深刻化する社会問題を解決するため，生命現象の根源的理解，新技術の開発，地域の産業や環境の改善に先駆的かつ多面的に対応する人材の養成を行います。生命の不思議，環境と調和した持続的な生物生産に強い関心を有する学生を幅広く受け入れます。

コース名	コースの概要
基礎生命科学	さまざまな生き物の示す多彩な生命活動を，分子から個体のレベルにわたって各種の視点から教育・研究を行います。分野としては，生化学，分子遺伝学，分子生物学，細胞学，発生学，生理学，免疫生物学などがこれに該当します。これらの各分野を有機的に結合し，さらに先端的な技術なども取り入れて，基礎から先端的内容までを含む幅広い教育・研究を行います。学生には，単に教育を受ける者としての受け身的な姿勢ではなく，自らが問題点を見いだして学んでいくという積極的な姿勢が望まれます。
応用生命・食品科学	本コースでは，最新のバイオサイエンス・バイオテクノロジーを駆使した生命現象の解析や農林畜産物の生産・加工・利用などの技術開発に携わる優れた人材の育成を目指しています。ゲノムコントロールによる植物および微生物機能の改良，高度化を目的として，植物および微生物ゲノムの機能とその制御，植物における養分吸収と代謝調節，オルガネラ形成制御，微生物が生産する生理活性物質，酵素機能の解明に関する先端的研究を行います。また，安全で付加価値の高い食の開発・製造・供給，持続可能な農林業生産，地球環境の維持・修復を目的として，食品および有用成分の生理・栄養機能，食品素材とその高度利用技術の開発，動物におけるオートファジー制御，微生物の有用機能，土壌－微生物－植物間相互作用，木質バイオマス資源の開発・有効利用に関する先端的な研究を行います。
生物資源科学	基礎農学，フィールドサイエンス，バイオテクノロジーなどの技術的研究を通じて，農業を支える植物，動物資源の生産機構を分子，個体，生態レベルで明らかにし，動植物の生産性向上に資するとともに，複合的生態系の維持，農山村開発，持続的な農業の発達，農林産物流通など関連産業の振興に関する諸問題の解決に必要な研究を行い，地域社会との連携や，アジア農林業問題など国際的な貢献を目指します。この教育研究目標達成のため，食料・資源管理学分野，資源植物生産学分野，資源動物科学分野の３分野が設けられています。

【５．環境科学専攻】

地球規模から東北アジアの一角で日本海に面して多雪温暖の地，新潟大学のある新潟までを幅広く対象として，その構造を探求し，グローバルな視野で地圏・水圏・生物圏と人間社会との相互関係を理解し，自然環境から都市・農山村環境を創り出せる独創性に富んだ人材の養成と，先端的・学際的（interdisciplinary）で超域的（multidisciplinary）な研究を行います。

コース名	コースの概要
自然システム科学	地球の気圏・水圏・地圏における物質・エネルギーの循環メカニズムや生物圏における生物多様性の維持機構等を，物理学・地球科学・化学・生物学などの基礎理学的視点から解明し，環境における諸問題を科学的に解明するための教育・研究に取り組みます。具体的には，物質循環の把握や大気海洋現象の解析，汚染物質の起源の解明，機能性素材や新エネルギー源の開発などの地球上での物質・エネルギー循環のメカニズムの理解と応用のための教育研究と，地質の形成過程や地質災害諸現象の原因解明，および地球上の生物多様性の維持機構と環境適応機構などの教育研究を行います。
流域環境学	流域を人の生活や資源循環の一単位と考え，人間の生存基盤を提供する森林と，人間が働きかけ食料を得る場としての農地・農業を支える，森林科学・農業工学の研究を行って，人と自然の共生を可能にする知識の蓄積と技術の開発を目指します。また，世界的にも希な多雪地域であり，独特の水循環形態と動植物の生息環境が形成されてきた新潟の地にあって，地球温暖化の影響を強く受けると考えられる水・物質循環，農林環境および生態系の変動について，最先端の研究を行います。森林生態系生物学，森林資源保全・利用学，地域管理工学，農業システム工学，水循環変動学および生態系変動学の研究分野で構成されます。
社会基盤・建築学	都市と人間および自然環境との持続可能な共生システムの統合的構築を目指し，これを実現する工学的技法，建築学・都市工学・土木工学に関する教育研究を行います。具体的には，各種災害から都市・建築および人間の安全性を確保するための社会基盤施設・建築構造物の構築技術を始め，快適で安全な居住環境と自然との共生を目指した住宅・建築・都市などの空間の構成・設計計画手法や，河川等の水域環境の物理的挙動・水質の解析・評価技術，および都市の景観形成とその歴史的変遷について評価・計画・活用するための技術などに関する教育研究を対象としています。
地球科学	陸域や海洋底の堆積層，岩石，鉱物，化石などを対象に，それらのマクロ的・ミクロ的特質を最新の研究手法で探究し，岩圏と生物圏それぞれの性質と相互作用を地球の歴史的視点から総合することにより，地球システムの根本を解明します。
災害環境科学	新潟地域は，温暖多雪でかつ地殻変動が活発なため，日本列島有数の自然災害多発地域で，近年の相次いだ地震災害，豪雨・豪雪災害などはその具体例です。新潟のこのような地域特性を把握し，人の生活基盤である都市から中山間地にかけての雪氷・斜面・洪水・火山土砂・地盤災害などとそれらの複合災害について，履歴解明，発生機構・予測などの基礎研究をもとに，環境変動・社会変化にともなう災害発現の変容に対する対策を含む，総合的防・減災対策の教育・研究を行います。

(2) 所属教員・研究内容一覧

（注１）　本一覧は，平成 27 年 4 月 1 日現在の本研究科の教員について記載したものです。

（注２）　指導教員について，教員によっては学生の受入れができない場合がありますので，出願に際しては，志望するコース教員又はコース主任（連絡先）にあらかじめ問い合わせてください。

（注３）　所属については，「自」は大学院自然科学研究科，「理」は理学部，「工」は工学部，「農」は農学部，「教」は教育学部，「医」は医学部，「脳」は脳研究所，「災」は災害・復興科学研究所，「地」は産学地域連携推進センター，「機器」は機器分析センター，「超」は超域学術院，「技」は大学院技術経営研究科をそれぞれ示します。

（注４）　担当教員の情報は，「http://www.gs.niigata-u.ac.jp/~gsweb/mbrlist/index.html」も参照してください。

○ 所属教員・研究内容一覧
＜数理物質科学専攻＞

博士後期課程

コース	所属教員	職名	所属	研究内容	授業科目
物理学	山田　裕	教授	理	強相関電子系の物質の合成と高圧物性	超伝導物理学Ⅰ
	根本　祐一	准教授	自	強相関電子系の低温物理	強相関物理学Ⅱ
	大野　義章	教授	理	強相関電子系の理論的研究	強相関物理学Ⅰ
	淺賀　岳彦	准教授	理	素粒子統一模型と初期宇宙の物理現象	ゲージ場理論特論Ⅲ
	宮田　等	教授	理	素粒子物理学の実験的研究	高エネルギー物理学Ⅱ
	伊藤　克美	教授	教	繰り込み群，弦の場の理論	非摂動論的場の理論Ⅱ
	中野　博章	准教授	理	超対称性に基づく素粒子の統一模型	ゲージ場理論特論Ⅱ
	小池　裕司	教授	理	量子色力学を基礎にしたハドロン物理学	量子色力学特論Ⅰ
	松尾　正之	教授	理	原子核構造の理論，不安定核，集団運動	サブアトミック物理学Ⅰ
	大坪　隆	准教授	理	不安定核の核構造の実験的研究	原子核構造特論Ⅰ
	大原　謙一	教授	自	一般相対論的な天体物理学の理論	宇宙物理学講究Ⅰ
	西　亮一	准教授	自	天体の構造，形成および進化の研究	宇宙物理学講究Ⅱ
	奥西　巧一	准教授	理	量子スピン系の理論	計算物性学
	摂待　力生	教授	理	重い電子系の単結晶育成と極限下物性実験	超伝導物理学Ⅱ
	石川　文洋	准教授	理	高圧下における超伝導と磁性の研究	不規則系物理学Ⅱ
	金　鋼	准教授	自	複雑流体・ソフトマター物理の理論的研究	凝縮系物理学Ⅰ
	岸本　功	准教授	教	弦の場の理論，超弦理論に関する研究	非摂動論的場の理論Ⅰ
	江尻　信司	准教授	理	高温高密度での量子色力学の研究	ゲージ場理論特論Ⅰ
	松崎　禎市郎	客員教授	自	ミュオンを用いた核物性研究	ミュオン物質物理学特論
	羽場　宏光	客員准教授	自	重・超重元素の核化学，RI応用学	不安定核物理学特論
化学	梅林　泰宏	教授	自	環境調和型溶媒の探索とその基礎科学	溶液内反応特論
	佐藤　敬一	准教授	理	イオン性金属錯体の相間移動平衡の熱力学と構造	溶液内構造特論
	工藤　久昭	教授	理	超重元素の合成と化学的性質の研究	重元素化学
	後藤　真一	准教授	理	重・超重元素の核的・化学的性質の研究	放射線計測学
	田山　英治	准教授	理	第四級アンモニウムカチオンの反応	不斉有機合成論
	長谷川　英悦	教授	理	酸化還元で生成する活性有機分子種の化学	酸化還元反応論
	岩本　啓	准教授	自	トポロジカル分子（カテナン，ロタキサン）の合成と機能化	構造活性相関論
	古川　和広	教授	理	細胞内情報構築における細胞核機能学	細胞機能化学
	丸山　健二	准教授	理	液体金属・半導体の粒子線回折実験	凝縮相構造特論
	大鳥　範和	教授	理	液体・ガラスの構造と物性等の計算機実験	分子動力学特論
	生駒　忠昭	教授	理	分子性固体の光伝導に関する実験的研究	化学反応動力学
	俣野　善博	教授	理	有機典型元素化合物に関する研究	有機物質合成論
	中馬　吉郎	准教授	理	翻訳後修飾酵素の機能と制御機構に関する研究	生理機能化学
	古川　貢	准教授	機器	機能性物質のアドバンスドESRによる機能性解明研究	量子反応動力学

コース	所属教員	職名	所属	研究内容	授業科目
化学	大江一弘	助教	自	超重元素の溶媒抽出挙動の研究	
	三浦智明	助教	理	複雑系における光誘起電子移動に関する実験的研究	
数理科学	渡邉恵一	教授	理	作用素がなす非可換空間の構造	作用素環論
	羽鳥理	教授	理	バナッハ環に関わる保存問題の研究	関数空間論
	印南信宏	教授	理	微分幾何学，測地線の幾何学，曲線族の微分幾何学	大域微分幾何学
	蛭川潤一	准教授	理	時系列解析の理論とその応用	応用統計学特論
	田中環	教授	自	ベクトル最適化問題の解析的研究	数理計画特論
	山田修司	教授	理	数理システムの大域的最適化	最適化特論
	鈴木有祐	准教授	理	閉曲面上に埋め込まれたグラフに関する研究	位相幾何学
	三浦毅	教授	理	Banach環上の保存問題	複素解析学
	星明考	准教授	理	数論，代数学	数論
	小島秀雄	教授	理	開代数多様体に関する研究	代数幾何学
	家富洋	教授	理	経済・社会現象の数理的研究	情報統計学特論
	劉雪峰	准教授	自	微分方程式の数値計算と誤差解析	数理システム特論
	應和宏樹	助教	自	偏微分方程式の解の存在と一意性に関する研究	偏微分方程式論

コース	所属教員	職名	所属	研究内容		授業科目
機能材料科学	椎名亮輔	准教授	工	※物	強相関電子材料の理論的研究	固体電子材料特論
	坪井望	教授	工	※物	半導体光物性，電子・電気材料工学	光・電子デバイス材料論
	佐々木進	准教授	工	※物	核スピントロニクスと量子物性	磁性材料特論
	武田直也	教授	工	※物	磁性化合物，超伝導体の物性及び開発	超伝導物性論
	中野智仁	准教授	自	※物	超伝導体，磁性体の開発と極限環境下電子物性	金属材料電子論
	八木政行	教授	工	※開	無機ナノ材料，光－化学エネルギー変換材料	機能性無機材料特論
	山内健	教授	工	※開	高分子複合材料，生体模倣材料	複合材料設計
	谷口正之	教授	工	※開	食品機能工学，生物機能工学	生物材料設計学
	田中孝明	教授	工	※開	生物材料工学，生物化学工学	生物反応プロセス工学
	大木基史	准教授	工	※開	機能性薄膜材料の開発および機械的特性評価	機能性材料強度特論
	由井樹人	准教授	工	※開	光化学，光機能材料	固体物性化学特論
	三俣哲	准教授	工	※開	刺激応答性ソフトマテリアルの合成と物性評価	ソフトマテリアル工学
素材生産科学	青木俊樹	教授	工	※応	新規な機能性高分子の新規合成法	精密高分子設計
	今泉洋	教授	工	※応	分析化学・放射化学の原理とその応用	素材反応制御化学
	金子隆司	教授	自	※応	（主に電子）機能性高分子の設計と合成	機能性高分子設計
	鎌田正喜	教授	教	※応	光電子移動反応の応用，抗マラリア剤の開発	励起分子変換化学
	児玉竜也	教授	工	※応	高温太陽熱の化学燃料転換に関する研究	素材平衡化学
	佐藤峰夫	教授	工	※応	機能性無機材料の合成と物性評価	無機素材物性解析
	鈴木敏夫	教授	工	※応	天然有機化合物の合成研究	有機素材物性解析
	狩野直樹	准教授	工	※応	環境動態の解析・解明と影響評価	素材解析化学
	戸田健司	准教授	自	※応	無機固体材料の設計と評価	無機材料設計
	郭起燮	准教授	自	※応		
	木村勇雄	教授	工	※化	微粒子材料の構造設計と作製	微粒子機能制御論
	金熙濬	教授	工	※化	レア資源の回収技術開発，石炭の高品質化	生産移動現象論
	清水忠明	教授	工	※化	資源エネルギー有効利用プロセスを設計する	材料ライフサイクル工学
	山際和明	教授	自	※化	生物学的水環境保全技術の開発	生物化学工学
	田口佳成	准教授	工	※化	ナノ・マイクロカプセル，複合微粒子の調製	複合微粒子設計工学特論
	多島秀男	准教授	自	※化	環境分離プロセスの設計と開発，分離材料調製	生産化学装置論
	三上貴司	准教授	工	※化	結晶粉体製品の工業生産に関する単位操作研究	精密粉粒体工学
機械科学	田邊裕治	教授	工	材料特性の同定，衝撃破壊力学		材料強度評価学
	鳴海敬倫	教授	工	機能性流体，複雑流体の流動		複雑性流体工学
	松原幸治	教授	工	熱工学，乱流伝熱		輸送現象論
	新田勇	教授	工	機械要素，トライボロジー		知的光応用機器論
	藤澤延行	教授	工	可視化法とその応用		可視化情報計測論
	田村武夫	准教授	工	材料の表面改質		先端プロセッシング論

コース	所属教員	職名	所属	研究内容	授業科目
機械科学	坂本秀一	准教授	工	機械の騒音低減，音響を利用した計測	応用音響学
	安部隆	教授	自	センサ・マイクロマシン，ナノテクノロジー	先端マイクロマシン工学特論
	横山誠	准教授	工	非線形システムの同定と制御	知的ロボット
	平元和彦	教授	工	機械力学と制御	機械システム制御論
	鈴木賢治	教授	教	X線材料強度学	X線材料強度学特論
	尾田雅文	教授	産	福祉工学，トライボロジー	知的構造・材料学
	川崎一正	准教授	産	機械要素，歯車工学	デザインシステム論
	櫻井篤	准教授	工	熱工学，光工学，エネルギー学	先進環境エネルギー工学特論
	佐々木朋裕	准教授	自	金属工学，材料加工	接合加工学特論

※物は物性系，※開は開発系，※応は応用化学系，※化は化学工学系を示します。

コース	所属教員	職名	所属	研究内容	授業科目
情報工学	中野 敬介	教授	工	ネットワーク工学，移動情報ネットワーク	移動通信特論
	山口 芳雄	教授	工	波動の性質とその応用	リモートセンシング特論
	山田 寛喜	教授	工	無線信号処理，レーダ，無線通信システム，アレーアンテナ	ワイヤレス情報通信システム特論
	山本 正信	教授	工	コンピュータビジョン，グラフィックス	動画像処理
	西森 健太郎	准教授	工	MIMO技術を用いた屋内，スポット測位に関する研究	計算機アーキテクチャ特論
	高橋 俊彦	准教授	自	組合せアルゴリズム	アルゴリズム特論
	林 貴宏	准教授	工	マルチメディア情報検索，インタラクティブシステム	人間情報科学特論
	牧野 秀夫	教授	工	医療・福祉・環境情報機器の研究	地理情報・計測システム特論
	元木 達也	准教授	工	進化的計算	
	管野 政明	准教授	工	制御しやすいシステムの特徴づけ，数値・数式ハイブリッド最適化手法	数理工学特論
	阿部 貴志	准教授	工	バイオインフォマティクス	
	永幡 幸生	教授	工	確率論	情報数理特論
	山﨑 達也	教授	自	情報通信工学	分散協調メディア特論
	高橋 剛	准教授	工	代数幾何学	応用代数幾何学
	酒匂 宏樹	准教授	工	関数解析　距離空間の幾何学	関数解析的群論
	山本 征法	准教授	工		
電気電子工学	小椋 一夫	教授	工	プラズマ科学，ミリ波・テラヘルツ波，パルスパワー工学	電気磁気エネルギー工学
	菅原 晃	准教授	工	高電圧大電流工学，風力発電	高電圧パルス工学
	山家 清之	准教授	自	プラズマ理工学，プラズマ応用，プラズマプロセス	プラズマエネルギー工学特論
	福井 聡	教授	工	超伝導応用機器，先端超伝導材料	超伝導システム特論
	小川 純	准教授	工	応用超電導工学	デバイス・エネルギー機器
	岡 徹雄	教授	工	高温超伝導バルク材と磁石応用	超伝導応用特論
	加藤 景三	教授	自	電子材料，有機エレクトロニクス	エネルギー応用デバイス
	新保 一成	教授	工	電子・光デバイス，電子機器	情報通信デバイス特論
	馬場 暁	准教授	超	有機エレクトロニクス，バイオフォトニクス	分子エレクトロニクス特論
	清水 英彦	准教授	工	薄膜構造制御	薄膜応用工学
	佐藤 孝	教授	工	半導体レーザーの波長安定化	レーザー物理
	鈴木 孝昌	教授	自	計測・制御，光情報処理システム	ナノ測定論
	大平 泰生	准教授	工	ナノフォトニクス，量子エレクトロニクス	ナノフォトニクス特論
	菊池 久和	教授	工	画像工学，信号処理，色彩信号処理	ディジタル信号処理論
	佐々木 重信	教授	工	スペクトル拡散通信，無線通信システム	スペクトル拡散通信論
	村松 正吾	准教授	工	マルチレート信号処理，画像処理	多次元信号処理論
	金 ミンソク	准教授	工	電波伝搬，時空間信号処理，ソフトウェア無線	通信応用システム特論
人間支援科学	大河 正志	教授	工	センシングデバイス，光エレクトロニクス	センシングデバイス論
	木竜 徹	教授	自	時変性生体信号の多次元処理	生体機能解析

コース	所属教員	職名	所属	研究内容	授業科目
人間支援科学	坂本 信	教授	医	医用生体力学	生体材料工学特論
	林 豊彦	教授	工	生活支援工学，医用生体工学	運動・コミュニケーション支援論
	三村 宣治	教授	工	ロボティクス，制御工学	先端支援機器
	石井 望	准教授	工	生体電磁環境工学，アンテナ工学，電磁波工学	生体電磁論
	岩城 護	准教授	自	信号処理，音声工学，聴覚心理	聴覚障害支援論
	牛山 幸彦	教授	教	スポーツのバイオメカニクス	ウエルネス・スポーツ健康論
	鈴木 清隆	准教授	脳	生体磁気共鳴学，脳機能解析，神経工学	神経工学特論
	堀 潤一	教授	工	生体医工学，支援機器工学	生体画像信号解析
	前田 義信	准教授	工	福祉生体分野のモデリングと構造分析	福祉シミュレーション
	渡辺 哲也	准教授	工	視覚障害者支援技術，触知覚，ヒューマンインタフェース	視覚障害支援論
	飯島 淳彦	准教授	工	神経生理学，生体医工学，視覚認知	生体情報システム論
	今村 孝	准教授	工	生体行動の計測・制御工学，移動支援，機構設計学	知能情報機械論

コース	所属教員	職名	所属	研究内容	授業科目
基礎生命科学	杉本 健吉	准教授	自	造血制御機構の分子生物学的研究	細胞分化制御学特論
	長東 俊治	教授	理	糖鎖情報解読のための生化学的研究	糖鎖科学特論
	内海 利男	教授	理	遺伝情報翻訳反応の分子生物学	核酸分子機能論
	前野 貢	教授	自	胚軸形成，胚血球分化の制御機構	胚発生学特論
	西川 周一	教授	理	小胞体機能による植物生活環の制御機構	植物機能制御論Ⅰ
	酒井 達也	教授	理	突然変異体を用いた植物の環境応答機構の研究	植物分子遺伝学特論Ⅱ
	岩崎 俊介	准教授	理	タンパク質の核−細胞質間輸送による植物機能制御	植物機能制御論Ⅲ
	安東 宏徳	教授	理	動物の環境適応の脳内機構	適応統合生物学
	加藤 朗	准教授	理	植物ペルオキソームの形成・分化機構	植物機能制御論Ⅱ
	井筒 ゆみ	准教授	理	動物の器官形成における細胞死と免疫機構	細胞認識学
	伊東 孝祐	助教	理	遺伝子の翻訳反応に関する生体分子の構造機能解析	
	藤間 真紀	助教	理	免疫応答の分子細胞学的研究	
	安房田 智司	助教	理	魚類の繁殖戦略についての行動生態学的研究	
	鈴木 詔子	助教	自	生物種特異的な糖鎖の構造解析と糖転移酵素の研究	
	飯田 碧	助教	理	水生生物の生態と環境への応答に関する研究	
応用生命・食品科学	大山 卓爾	教授	農	ダイズの共生的窒素固定と硝酸の吸収代謝	植物栽培生理化学
	大坪 研一	教授	農	米の品質評価法，加工利用技術の研究	米科学論
	門脇 基二	教授	農	タンパク質代謝の栄養性調節	栄養代謝制御論
	小島 康夫	教授	農	木質バイオマスからの水素生産、笹・竹のバイオマスリファイナリ，フイトンチッドの解析と生理活性	木質バイオマス論
	末吉 邦	教授	農	植物における無機窒素の吸収・同化の制御機構	植物環境生理化学
	星野 力	教授	農	有用天然物の分子生物学及び生物有機化学	微生物生合成酵素学
	三ツ井 敏明	教授	農	イネデンプン代謝に関わるオルガネラ間コミュニケーション	植物代謝制御特論
	渡邉 剛志	教授	農	微生物酵素の構造機能解析と遺伝子発現調節機構の解明	分子微生物学特論
	伊藤 紀美子	准教授	自	イネ翻訳後修飾因子の研究と新奇物性を持つデンプンの開発	エピジェネティクス特論
	大竹 憲邦	准教授	農	ダイズ種子貯蔵タンパク質集積調節機構	植物環境応答学特論Ⅱ
	佐藤 努	准教授	農	微生物の生産する生理活性物質の探索・機能・生合成	微生物機能化学
	城斗 志夫	准教授	農	食品のおいしさや機能性に関する研究	食品素材機能論
	鈴木 一史	准教授	農	細菌の遺伝子発現制御機構	Topics in Molecular Microbiology
	中井 博之	准教授	農	機能性糖質の生産開発	米科学論
	西海 理之	准教授	農	高圧食品科学に関する研究，食肉の物性制御と結合組織の構造・機能に関する研究	動物タンパク質機能論
	原 崇	准教授	農	食品成分の免疫制御機能	食品機能化学特論
	原田 直樹	准教授	農	土壌微生物の機能解析と環境修復等への利用，農地における放射性物質の挙動と作物吸収の抑制	土壌機能解析学特論
	藤村 忍	准教授	農	筋肉タンパク質代謝及び食肉機能の調節	食肉制御論
	三亀 啓吾	准教授	農	植物成分からの機能性物質の製造	木質利用化学
	野中 昌法	教授	技	土壌修復に対する土壌微生物の評価と応用	土壌環境学
	廣瀬 竜郎	客員教授	自	イネの糖・デンプン代謝および糖転流の生理学	バイオインフォマテイクス特論

コース	所属教員	職名	所属	研究内容	授業科目
応用生命・食品科学	山口武志	客員教授	自	イネにおけるリン脂質代謝の生理機能	植物ゲノム機能学特論
	吉田均	客員准教授	自	花器官形成および植物ホルモン生合成制御の分子機構	植物バイオコントロール特論
	MAROUANE BASLAM	助教	自	微生物が放出する揮発性物質によるシロイヌナズナにおける澱粉生合成の活性化機構に関する研究	植物代謝制御特論
生物資源科学	木南莉莉	教授	農	開発に関わる諸問題に関する研究	国際農業資源開発論
	清野誠喜	准教授	農	食品産業及び農業におけるマーケティング研究	地域食品産業特論
	平泉光一	准教授	農	農業技術構造と地域農業管理の研究	農業生産力論
	岡崎桂一	教授	農	分子遺伝学的手法による育種	ゲノム解析学
	児島清秀	教授	自	果樹・蔬菜の発育の分子・生理機構	植物発育制御学
	高橋能彦	教授	農	作物生産における肥培管理技術	作物資源利用学
	中野優	准教授	自	植物組織培養技術を用いた増殖・育種	植物細胞育種学
	古市尚高	准教授	農	植物病害抵抗性の植物病理	植物感染機構論
	渡邊肇	准教授	農	作物の生理・生態の解析と生産性向上への応用	食用作物生理学
	佐野義孝	准教授	農	植物ウイルスの疫学および分子生物学	比較ウイルス学
	韓東生	准教授	農	環境保全型栽培および品種改良	農作業システム特論
	高田良三	教授	農	家畜におけるタンパク質・脂肪蓄積の制御機構	動物生産制御学
	新村末雄	教授	農	哺乳動物卵子の機能形態学的研究	動物比較形態論
	山田宜永	教授	農	実験動物・家畜における遺伝学的解析	動物遺伝解析学
	杉山稔恵	准教授	農	動物の骨とカルシウム代謝に関する研究	動物組織細胞化学論
	西村実	教授	農	環境ストレスに対する作物の反応様式の研究	作物遺伝資源学
	板野志郎	准教授	農	草地における生態系機能と動物・植物間相互作用に関する研究	草地植生利用管理学

コース	所属教員	職名	所属	研究内容	授業科目
自然システム科学	副島浩一	教授	理	多価イオンと物質の相互作用と新規環境分析法の開発	環境物理学特論Ⅱ
	本田明治	准教授	理	気候変動に関わる大気大循環と異常気象	地球物理学特論Ⅰ
	浮田甚郎	教授	理	大気・海洋・雪氷結合系における素過程の解明	地球物理学特論Ⅱ
	松岡史郎	教授	理	高選択下で行う微量成分の高感度計測法	環境化学特論Ⅱ
	湯川靖彦	教授	理	X線結晶構造解析法及び得られる情報の解説	環境化学特論Ⅲ
	臼井聡	准教授	理	光および熱有機反応機構の理論的・実験的研究	環境化学特論Ⅰ
	久保田喜裕	准教授	理	資源・環境地質学	地圏環境科学特論Ⅱ
	濱口哲	教授	理	魚類生殖細胞の分化と性的二型性	機能形態学特論Ⅰ
	林八寿子	准教授	理	植物細胞の環境適応機構とオルガネラの機能形態	機能形態学特論Ⅱ
	上井進也	准教授	理	海藻類の種分化・集団分化	保全生物学特論Ⅱ
	酒泉満	教授	理	脊椎動物の遺伝学，特に性決定の分子機構	多様性生物学特論Ⅱ
	工藤起来	准教授	教	昆虫における社会性の進化	保全生物学特論Ⅲ
	志賀隆	准教授	教	水生植物の系統分類と保全生物学	保全生物学特論Ⅰ
	奈良間千之	准教授	理	アジア山岳地域の氷河・氷河災害の現状解明	地圏環境科学特論Ⅰ
	則末和宏	准教授	理	海洋における微量元素と同位体の分布・循環の解明	環境化学特論Ⅳ
	石崎智美	助教	自	野生植物における被食防衛機構の解明	多様性生物学特論Ⅲ
	藤村衡至	助教	理	魚類の形態進化とゲノム進化に関する研究	多様性生物学特論Ⅲ
流域環境学	ウィタカ・アンドリュー	准教授	自	山地流域での出水流出過程の水文地形学的研究	応用雪水文学
	紙谷智彦	教授	自	生態系の管理が植物種多様性に及ぼす影響	生態系動態論
	川邉洋	教授	農	崩壊・地すべり等の斜面変動の発生メカニズム	斜面変動論
	権田豊	准教授	農	渓流における土砂移動現象の解明	森林環境物理学
	崎尾均	教授	農	樹木の生活史と繁殖戦略	森林生態系管理学Ⅲ
	鈴木哲也	准教授	農	非破壊検査技術を用いた構造材料の損傷度評価法の開発研究	施設機能工学
	関島恒夫	准教授	自	野生動物の生態と保護・管理	野生動物管理学
	中田誠	教授	農	環境変動および環境汚染が生態系に及ぼす影響	生態系機能学
	中野和弘	教授	自	農業環境の制御と高品質農業へのシステム化	農業環境システム論
	長谷川英夫	准教授	農	東南アジアを中心とした農業機械化適正技術の開発とバイオマスエネルギーの利活用に関する研究	生産システム工学
	本間航介	准教授	農	森林群集の更新動態解析	森林生態系管理学Ⅱ
	箕口秀夫	教授	農	森林における生物被害の防除と多様性の維持	森林生態系管理学Ⅰ
	村上拓彦	准教授	農	地理空間情報（GIS，リモートセンシング）を駆使した生態学的研究	森林空間情報学
	元永佳孝	准教授	農	生物情報のセンシング技術とその利用	農業情報学特論
	森井俊廣	教授	農	農業水利施設の設計・機能保全及び環境調和技術の開発	農地・農村計画学Ⅱ
	吉川夏樹	准教授	農	農地の減災・防災機能および農地系における水循環	農業水利調整学
	坂田寧代	准教授	農	農村地域における土地利用の歴史的変遷および農地等の区画特性	農地・農村計画学Ⅰ
社会基盤・建築学	泉宮尊司	教授	工	※社　海岸防護と環境解析	沿岸環境防災論
	阿部和久	教授	工	※社　応用力学・計算力学	建設構造材料論Ⅰ

コース	所属教員	職名	所属	研究内容		授業科目
社会基盤・建築学	佐伯竜彦	教授	工	※社	コンクリート構造物の維持管理方法	建設構造材料論Ⅱ
	高橋敬雄	教授	工	※社	環境微量汚染物質制御・途上国用排水処理	都市水質リスク学
	紅露一寛	准教授	自	※社	社会基盤工学における環境シミュレーション	環境・災害モデリング
	斎藤豪	准教授	工	※社	建設材料科学	環境材料論
	大竹雄	准教授	工	※社	地盤構造物の信頼性評価・リスク評価	地盤防災論
	加藤大介	教授	工	※建	鉄筋コンクリート構造の耐震設計法	構造システム論Ⅰ
	土井希祐	教授	工	※建	鋼コンクリート合成構造の設計方法	構造システム論Ⅱ
	赤林伸一	教授	自	※建	建築・都市における環境設計	建築環境制御論Ⅱ
	西村伸也	教授	工	※建	建築・デザイン・計画	居住空間論Ⅰ
	黒野弘靖	准教授	工	※建	住居建築とその集合の計画理論	居住空間論Ⅱ
	岡崎篤行	教授	工	※建	都市景観計画と市民参加	景観計画論
	寺尾仁	准教授	工	※社・建	都市・地域政策	
	中村孝也	准教授	工	※建	コンクリート構造物の耐震性評価	構造システム論Ⅲ
	大嶋拓也	准教授	工	※建	建築・都市における音環境予測	建築環境制御論Ⅰ
地球科学	高澤栄一	教授	理		上部マントルダイナミクスの岩石学的・地球化学的研究	地球深部物質論・海洋地殻生成論
	藤林紀枝	教授	教		背弧火山活動の火山学的，物質科学的研究	島弧火山学
	豊島剛志	教授	理		マイロナイト・変形集中・シュードタキライト・地震・地殻のレオロジー	岩圏変形論
	小林健太	講師	理		脆性断層・活断層・地震断層に関する構造地質学	断層物質科学
	松岡篤	教授	理		浮遊性原生生物の進化と海洋環境変遷史の研究	地球一生命共進化論
	新川公	准教授	理		後期古生代サンゴ類の生層序学，系統分類学	地球生物適応論
	栗原敏之	准教授	自		微古生物学による顕生代地史の研究	古生物地理論
	栗田裕司	准教授	理		地層記録の解読による堆積盆地発達史の解明	微化石層序論
	髙清水康博	准教授	教		砕屑物の堆積作用と堆積岩の形成過程復元	表層物質堆積論
	SATISH KUMAR, MADHUSOODHAN	教授	理		先カンブリア地質学	島弧火成史論
	小西博巳	教授	自		電子顕微鏡法による生物―鉱物相互作用の研究とナノミネラロジー	鉱物科学特論
	植田勇人	准教授	理		付加体と高圧変成岩のテクトニクス	地圏環境進化学
	高橋俊郎	准教授	理		島弧火山岩の岩石学的・地球化学的研究	岩圏物質変遷論
災害環境科学	和泉薫	教授	災		雪氷災害の発生機構と防災及び雪氷環境変動	雪氷災害特論Ⅰ
	福岡浩	教授	災		斜面災害における地盤工学・地球物理学的アプローチ	斜面災害特論Ⅰ
	卜部厚志	准教授	災		平野地盤災害の特徴と防災	地盤変動特論
	片岡香子	准教授	災		噴火時，噴火後の火山土砂移動・堆積現象（ラハール）とその災害	火山土砂災害特論
	河島克久	准教授	災		温暖化及び地震・火山活動と複合化した雪氷災害の予測と軽減	雪氷災害特論Ⅱ
	安田浩保	准教授	災		沖積河川の形成過程と制御方法に関する研究	数値河川水理学特論
	渡部直喜	准教授	災		斜面災害における水文地球化学的アプローチ	斜面災害特論Ⅱ

※社は社会基盤系，※建は建築系を示します。

所属教員	職名	所属	研究内容	授業科目
宮下孝洋	教授	自	実践型教育研究プログラムの開発	産学官連携インターンシップⅡ

Ⅶ　本研究科所定用紙（出願書類等）

コース記号	※

平成 28 年度新潟大学大学院自然科学研究科博士後期課程入学願書

募集区分	第 3 次募集 ・ 第 4 次募集

受験番号	※

選抜区分	1　一般入試 2　社会人特別入試 3　外国人留学生特別入試

（記入上の注意）
1　該当する番号又は事項を〇で囲んでください。
2　※欄は，記入しないでください。
3　上記１及び２は，受験票・写真票・履歴書についても同様です。
4　履歴事項は，裏面に記入してください。
5　連絡先は，緊急の際に必要としますので記入してください。

フ リ ガ ナ		性　　別	男 ・ 女
氏　　名 ※外国人留学生の場合は，右記にローマ字で記入すること		生年月日	（西暦） 年　月　日生（　歳） *2016 年（平成 28 年）4 月 1 日現在の満年齢
	（FAMILY NAME）　（First name）　（Middle name）		
本　人 現住所等	〒 （メールアドレス：　　）		TEL：（　）　－ 携帯：（　）　－
連 絡 先 （帰省先等）	※上記以外の連絡先を記入してください。 〒		TEL：（　）　－ 携帯：（　）　－

志　望　専　攻	専　攻
志　望　コ　ー　ス	コース

入学後の指導（予定）教授氏名

出身大学	国立 公立 私立　　大学	学　部 学　科	年　月　卒業
	国立 公立 私立　　大学大学院	研究科 修士課程 専　攻	年　月　修了 修了見込み

検定料納付証明書
（新潟大学提出用）
貼　付　欄

金融機関の窓口で受領した検定料納付証明書（新潟大学提出用）をはってください。

（※取扱金融機関の収納印が押印されていることを必ず確認してください。）

切り離さないこと

平成 28 年度新潟大学大学院自然科学研究科
博士後期課程入学者選抜試験
受　験　票

受験番号	※

募集区分	第 3 次募集 第 4 次募集

選抜区分	1　一般入試 2　社会人特別入試 3　外国人留学生特別入試

氏　　名	男 ・ 女 (西暦)　年　月　日生
志 望 専 攻	
志望コース	

（注）受験の際は，必ず本票を持参してください。

切り離さないこと

切り離さないこと

平成 28 年度新潟大学大学院自然科学研究科
博士後期課程入学者選抜試験
写　真　票

受験番号	※

募集区分	第 3 次募集 第 4 次募集

選抜区分	1　一般入試 2　社会人特別入試 3　外国人留学生特別入試

写真貼付
（タテ4cm，ヨコ3cm）
上半身・無帽・正面向きで
出願前3か月以内に撮影し
たもの。

氏　　名	男 ・ 女 (西暦)　年　月　日生
志 望 専 攻	
志望コース	

履　　歴　　書

フリガナ 氏　　名		男　・　女 （西暦）　　年　　月　　日生（　　歳）	
		*2016 年（平成 28 年）4 月 1 日現在の満年齢	
区　　分		在 学 ・ 在 職 期 間	学 校 名 ・ 職 場 名 等
学歴	初　等　教　育 （小学校）	年　月　入学 年　月　卒業	
	中　等　教　育 （中学校）	年　月　入学 年　月　卒業	
	中　等　教　育 （高等学校）	年　月　入学 年　月　卒業	
	高　等　教　育 （大学）	年　月　入学 年　月　卒業	
	高　等　教　育 （大学院）	年　月　入学 年　月　修了 修了見込	
		年　月 年　月	
職　　歴		年　月　日 年　月　日	
		年　月　日 年　月　日	
		年　月　日 年　月　日	
		年　月　日 年　月　日	
		年　月　日 年　月　日	
賞　　罰		年　月　日	
		年　月　日	
資　　格		年　月　日	
		年　月　日	
		年　月　日	

（注）1　履歴については，空白期間のないように記入してください。
2　学歴は，高等学校入学から記入してください。ただし，外国人留学生は，初等教育（小学校）入学から記入してください。
3　在職中の者は，職歴欄の最後に入学後の予定（在職予定，休職予定，退職予定，未定等）を記入してください。
4　事実を隠したり，偽りを記入すると，入学後であっても入学を取り消すことがあります。

研　究　計　画　書

志望専攻名等　　専攻　　コース　氏名

新潟大学大学院自然科学研究科

※所定様式は，下記 URL よりダウンロードできます。
（新潟大学大学院 自然科学研究科ホームページ ＞ 入学・進学をご希望の皆様 ＞入試情報＞入試関係書類）
http://www.gs.niigata-u.ac.jp/~gsweb/admission/document.html

受　験　承　諾　書

（一般入試・外国人留学生特別入試用）

所　　属

職　　名

氏　　名

上記の者について，新潟大学大学院自然科学研究科博士後期課程

＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿専　攻　の受験を承諾します。

平成　　年　　月　　日

勤務先の所属等
の長又は代表者
職　・　氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

印

承　　諾　　書

（社会人特別入試・長期履修学生用）

所　　属

職　　名

氏　　名

上記の者について，新潟大学大学院自然科学研究科博士後期課程に合格の際は，引き続き在職したまま入学することを承諾します。

なお，長期履修学生制度について，下記のとおり申し出します。

記

※　長期履修学生制度について（どちらかに必ずチェックをしてください。）

□　長期履修学生を希望する。
　履修期間を　　年にする。
　（博士後期課程は４年又は５年）

□　長期履修学生を希望しない。

平成　　年　　月　　日

勤　務　先
所　属　長
職・氏　名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　印

入学試験出願資格認定審査調書

	出願区分 （いずれかに○）	4月入学				10月入学 募集
		1次募集	2次募集	3次募集	4次募集	

フリガナ 氏　　名		現　職	
		現住所 及び 連絡先	（連絡先電話番号）
生年月日（年齢）	年　　月　　日（　　歳）		

選抜区分 （該当する番号を○で囲んでください。）	1 一般入試 2 社会人特別入試 3 外国人留学生特別入試	専攻		入学後の指導（予定）教授等氏名
		コース		

学　　歴	
年　月　日	事　　項

職　　歴	
年　月　日	事　　項

学会及び社会における活動等	
年　月　日	事　　項

新潟大学大学院自然科学研究科

※所定様式は，下記URLよりダウンロードできます。
（新潟大学大学院 自然科学研究科ホームページ ＞ 入学・進学をご希望の皆様 ＞入試情報＞入試関係書類）
http://www.gs.niigata-u.ac.jp/~gsweb/admission/document.html

研　究　業　績　書

志望専攻名等　　専攻　　コース　氏名

著書・学術論文・学術講演・学術報告・特許等の名称	発行又は発表等の年月日	発行所・発表誌等又は発表学会等の名称	著者名及び発表者名等（共著者及び共同発表者を含む。）
（著書）	年　月　日		
（学術論文）			
（学術講演）			
（学術報告）			
（特許）			
（その他）			

新潟大学大学院自然科学研究科

（注）１　学術論文等は，別刷又は写しを添付してください。
　　２　記入欄が不足する場合は，本様式をコピーして使用してください。

※所定様式は，下記 URL よりダウンロードできます。
（新潟大学大学院 自然科学研究科ホームページ ＞ 入学・進学をご希望の皆様 ＞入試情報＞入試関係書類）
http://www.gs.niigata-u.ac.jp/~gsweb/admission/document.html

研　究　経　過　報　告　書

志望専攻名等　　専攻　　コース　氏名

新潟大学大学院自然科学研究科

※所定様式は，下記 URL よりダウンロードできます。
（新潟大学大学院 自然科学研究科ホームページ ＞ 入学・進学をご希望の皆様 ＞入試情報＞入試関係書類）
http://www.gs.niigata-u.ac.jp/~gsweb/admission/document.html

Research Plan Form

（研究計画書）

The major and course you are applying for { Major: / Course: _____ Name _____

Graduate School of Science and Technology , Niigata University

※ Forms are available for download at the following URL.
（新潟大学大学院 自然科学研究科ホームページ ＞ 入学・進学をご希望の皆様 ＞入試情報＞入試関係書類）
http://www.gs.niigata-u.ac.jp/~gsweb/admission/document.html

Consent for Taking Examination

（受験承諾書）

（For General Entrance Examination or Entrance Examination for International Students)

Company / Organization_____

Occupation_____

Name_____

I, hereby, give my consent for the above-mentioned person to take the entrance examination for the Doctoral Program at the Graduate School of Science and Technology, Niigata University, for the following major:

_____

（Year ）　（Month）　（Day）

Date

Head or Representative of Division, Department, or Office, etc.:

Title: _____ Name: _____

Signature: _____

Eligibility Screening Application Form for Entrance Examination

（入学試験出願資格認定審査調書）

	Application Category (circle one)	April Admission				October Admission
		Primary	Secondary	Tertiary	Quaternary	

Name		Occupation	
Date of Birth (age)	(Year, Month, Day) (years old)	Address and Contact Number	(Phone Number)

Selection Category (Circle the applicable number)	1. General Entrance Examination 2. Entrance Examination for Working Students 3. Entrance Examination for International Students	Major		Prospective Academic Advisor	
		Course			

Education	
Date	Educational History

Occupation	
Date	Occupational History

Activities at Academia and Society	
Date	Activities

Graduate School of Science and Technology, Niigata University

※ Forms are available for download at the following URL.
（新潟大学大学院 自然科学研究科ホームページ ＞ 入学・進学をご希望の皆様 ＞入試情報＞入試関係書類）
http://www.gs.niigata-u.ac.jp/~gsweb/admission/document.html

Research Achievement Report

（研究業績書）

The major and course you are applying for { Major: / Course: ____ Name ____

Titles of Publications, Academic Theses, Academic Papers, Academic Lectures, Academic Reports, Patents, etc.	Date of publication or issue	Name of Publisher, Journal or Name of Academic Conference, etc.	Name of Author or Presenter (Including co-authors and co-presenters)
（Publications）			
（Academic Theses and Papers）			
（Academic Lectures）			
（Academic Reports）			
（Patents）			
（Other）			

Graduate School of Science and Technology, Niigata University

（Note） 1 Please attach a copy or reprint of publications, academic theses, academic papers, etc.

2 If columns provided are insufficient, please make a copy of this form in line with your needs.

※ Forms are available for download at the following URL.

（新潟大学大学院 自然科学研究科ホームページ ＞ 入学・進学をご希望の皆様 ＞入試情報＞入試関係書類）

http://www.gs.niigata-u.ac.jp/~gsweb/admission/document.html

Research Progress Report

（研究経過報告書）

The major and course you are applying for { Major: / Course: _____ Name _____

Graduate School of Science and Technology , Niigata University

※ Forms are available for download at the following URL.
（新潟大学大学院 自然科学研究科ホームページ ＞ 入学・進学をご希望の皆様 ＞入試情報＞入試関係書類）
http://www.gs.niigata-u.ac.jp/~gsweb/admission/document.html